

プログラム



プログラム

〈指〉 認定制度指定研修（申請時指定研修および更新単位）

〈専〉 専門医申請者研修（更新単位ではありません）

〈DH〉 日本歯科衛生士会認定更新研修

SL1 特別講演1

「口腔顔面機能の評価に基づいて歯科治療を個別化する必要性とは何か？」

「Why we should personalize dental treatment based on the assessment of oro-facial function.」

現地 + LIVE配信 6月11日(土) 13:40-14:40 第1会場

【講演趣旨】

口腔顔面システムは生理学的老化プロセスの影響を受け、必然的に機能や能力の低下につながる。さらに、併存する全身疾患は、老化プロセスとともに口腔機能を低下させる。

現在、口腔顔面の健康状態を評価し、機能低下を判別するのに役立つ広く検証された使いやすい器具が不足している。また、顎運動や舌・口唇のトレーニングのように、特定の機能の維持またはリハビリテーションのための臨床管理戦略はあるものの、口腔顔面機能全体を改善するためのホリスティックな管理戦略はない。

歯科医療専門職種は、嚥下障害、および外傷性脳損傷、脳卒中、その他の神経変性によって低下した機能のリハビリテーションのために、経験に基づいた戦略の確立を急ぐ必要がある。

【この特別講演に参加すると】

- ・口腔顔面機能についての理解が深まる。
- ・欧州における最新の口腔顔面機能研究の情報が得られる。
- ・高齢者の口腔顔面機能の維持とリハビリテーションの戦略について学ぶことができる。

座長：小野 高裕（新潟大学大学院医歯学総合研究科 包括歯科補綴学分野）

演者：Martin Schimmel

(Head and Chair, Department of Reconstructive Dentistry and Gerodontology, School of Dental Medicine, University of Bern, Switzerland / External research associate, Division of Gerodontology and Removable Prosthodontics, University Clinic of Dental Medicine, University of Geneva, Switzerland)

SL2 特別講演2

「口腔と他臓器との関連 その医学的根拠 –新潟市高齢者コホート研究–」

現地 + LIVE配信 6月12日(日) 11:40-12:40 第1会場

【講演趣旨】

超高齢社会に対処するため、高齢者歯科においても、歯科学のみならず、医学、栄養学、社会学等もまじえた学際的アプローチが求められている。そのような背景の中で、新潟市では70歳と80歳の住民763名を対象に口腔および全身健康状態に関する健康調査を実施した。その後、70歳の対象者600名に対しては80歳までの10年間のコホート研究を継続した。本調査では我々歯科関係者がマネジメントし、医科、栄養、運動、感染症等の専門家も加わる形で、それぞれの視点から歯・口腔を中心とした研究テーマを設定した。その結果、口腔の健康は栄養、運動、生活習慣病、メンタルヘルス等に対し影響を及ぼし合っていることが明らかになってきた。

【この講演に参加すると】

- ・医学的根拠に対する理解が深まる。
- ・学際的研究の価値について理解が深まる。
- ・口腔健康状態と全身的健康状態の関連性に関する知識が得られる。

座長：岩崎 正則 (東京都健康長寿医療センター研究所)

演者：葭原 明弘 (新潟大学大学院医歯学総合研究科 口腔保健学分野)

SY1 シンポジウム1 (学術委員会)

「口腔機能低下症に関するワークショップの成果報告」

現地 + LIVE配信 6月11日(土) 8:50-10:40 第1会場

【シンポジウム趣旨】

口腔機能低下症に関する現時点での課題と論点を抽出・整理し、日本老年歯科医学会として取り組むべき方針を決定することを目的として、2021年12月26日に「口腔機能低下症とオーラルフレイルに関するワークショップ」を開催した。本シンポジウムでは、ワークショップ内で議論された「口腔機能低下症の有病率・カットオフ値」、「検査法の種類と選択・代替法」、「今後の展望・戦略と縦断研究・介入研究」等の項目について成果を報告し、その成果を踏まえた上での学会が口腔機能低下症について取り組むべき今後の課題について、学会員の皆様と議論する。

【このシンポジウムに参加すると】

- ・口腔機能低下症の置かれている現状を把握し、問題点を知ることができます。
- ・本学会が取り組むべき口腔機能低下症の課題を理解し、今後の診療、研究において何をすべきかが明確になります。

座長：水口 俊介 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 高齢者歯科学)

池邊 一典 (大阪大学大学院歯学研究科 有床義歯補綴学・高齢者歯科学分野)

演者：SY1-1 上田 貴之 (東京歯科大学 老年歯科補綴学講座)

SY1-1 松尾 浩一郎 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 医歯理工学専攻 地域・福祉口腔機能管理学分野)

SY1-1 古屋 純一 (昭和大学歯学部 高齢者歯科学講座)

指定発言者：

SY1-指定 櫻井 薫 (こばやし歯科クリニック)

SY1-指定 小嶺 祐子 (厚生労働省医政局歯科保健課 歯科口腔保健推進室)

SY1-指定 石黒 幸枝 (米原市地域包括医療福祉センターふくしあ)

SY2 シンポジウム2 (学術用語委員会)

「日本人の食事摂取基準を咀嚼する ～栄養の概念から2020年版のポイントまで～」 <指>

現地 + LIVE配信 6月11日(土) 10:50-11:50 第1会場

【シンポジウム趣旨】

「日本人の食事摂取基準」は、国民の健康の保持・増進、生活習慣病の予防のために参照するエネルギー及び栄養素の摂取量の基準を示すものである。健康日本21(第二次)では、生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底を図るとともに、社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上を図ることなどが基本的な方向性として掲げられている。超高齢社会における新たな食事摂取基準として、2020年版では健康寿命の延伸を念頭におき、健康の保持、増進、生活習慣病のみならず、高齢者の低栄養・フレイル予防を新たに視野に入れて策定された。本シンポジウムでは、2020年版での改定ポイ

ントと食事摂取基準を踏まえた高齢期の食生活指導について理解することを目的として、専門家によるシンポジウムを企画した。

【このシンポジウムに参加すると】

このシンポジウムに参加すると、「日本人の食事摂取基準2020年版」の基本的な知識が身につきます。生活習慣病予防に加えて低栄養予防・フレイル予防の観点から、高齢者の食生活での注意点がわかります。高齢期の食事摂取基準について理解を深めることにより、咀嚼障害や摂食嚥下障害を有する者や糖尿病などを有する患者に対する食生活指導の質の向上を図ることができます。

座長：大久保 真衣（東京歯科大学口腔健康科学講座 摂食嚥下リハビリテーション研究室）

演者：SY2-1 『『日本人の食事摂取基準（2020年版）』の概要と特徴』

瀧本 秀美（国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 栄養疫学・食育研究部）

SY2-2 『『日本人の食事摂取基準（2020年版）』に基づく高齢者歯科保健対策』

三浦 宏子（北海道医療大学歯学部 保健衛生学分野）

SY3 シンポジウム3（国際渉外委員会）

「口腔機能に関する知見を国際的に共有する」

「Share the knowledge of oral function for future research development」

現地 + LIVE配信 6月11日(土) 14:50-16:10 第1会場

【シンポジウム趣旨】

2016年に本会が提唱した口腔機能低下症は、2018年に保険収載され、GerodontologyにもPosition Paperとして掲載された。その後、日本国内では、Oral hypofunctionに関する研究が多く発表されるようになってきた。2022年には、本学会の公式英文誌であるGerodontologyでOral hypofunctionのSpecial Issue（特集号）が発刊される。

そこで、本シンポジウムでは、GerodontologyのChief EditorであるMurray Thomson先生、ヨーロッパで先駆的に口腔機能の研究を行っているMartin Schimmel先生を交えて老年歯科医学における口腔機能について知見を交換し議論していく。

【このシンポジウムに参加すると】

- ・国内外における口腔機能/口腔機能低下症に関する研究の動向がわかる。
- ・国内外における高齢者の口腔機能/口腔機能低下症に関する考え方が理解できる。

座長：池邊 一典（大阪大学大学院歯学研究科 有床義歯補綴学・高齢者歯科学分野）

金澤 学（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 口腔デジタルプロセス学分野）

演者：SY3-1 『Reflections on the life course journey to oral health in old age』

Murray Thomson

(Department of Oral Sciences, University of Otago, Professor of Dental Epidemiology and Public Health)

SY3-2 『Trends and challenge of oral functional assessment in Europe』

Martin Schimmel

(Department of Reconstructive Dentistry and Gerodontology, School of Dental Medicine, University of Bern, Switzerland/External research associate, Division of Gerodontology and Removable Prosthodontics, University Clinic of Dental Medicine, University of Geneva, Switzerland)

SY3-3 『Intervention effects on oral hypofunction and oral dysfunction in older adults』

松尾 浩一郎（東京医科歯科大学大学院 地域・福祉口腔機能管理学分野）

SY4 シンポジウム4 (学術委員会)

「生涯における口腔機能の維持を考える ～青年期から壮年期には何が起きているのか?～」

現地 + LIVE配信 6月11日(土) 16:20-17:40 第1会場

【シンポジウム趣旨】

平成30年度、口腔機能管理の充実を目的に、口腔機能発達不全症と口腔機能低下症が同時に歯科医療保険に新規収載されました。このことにより、乳幼児期からの口腔機能の成育、高齢期での口腔機能低下予防への取り組みが進んでいます。しかしながら、それぞれの対象年齢の間にある青年期～壮年期においても、口腔機能の問題を有する者が一定数存在すると考えられますが、その実態は明らかではありません。本シンポジウムでは、青年期から壮年期の口腔機能の問題やその背景因子について各方面の専門家からお話を伺い、口腔機能低下症の予防に何が必要かについて、若年期からの心身の状態や環境を含めた総合的な見地から検討します。

【このシンポジウムに参加すると】

- ・顎や咬合の発達が成人期以降にどのように影響するかを理解できます。
- ・口腔機能低下症の全身的なリスク因子についての知識が身につきます。
- ・口腔機能発達不全症と口腔機能低下症の間の継続的な口腔健康管理の必要性を学べます。

座長：池邊 一典 (大阪大学大学院歯学研究科 有床義歯補綴学・高齢者歯科学分野)

田村 文誉 (日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック)

演者：SY4-1 「口腔機能発達不全症の診断に該当する成人の問題とは」

田村 文誉 (日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック)

SY4-2 「小児期の気道通気状態から顎咬合の発育を考える」

山崎 要一 (鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 小児歯科学分野)

SY4-3 「重症心身障害児者から学ぶ口腔機能低下」

田沼 直之 (東京都立府中療育センター 小児科)

SY4-4 「高齢者に至る全身状態の変化をもとに口腔機能低下の予防を考える」

丸山 道生 (田無病院)

SY5 シンポジウム5 (多職種連携委員会)

「地域包括ケアシステム構築まであと3年! ～他職種の業務と視点を理解して連携に活かそう～」

現地 + LIVE配信 6月11日(土) 8:50-10:40 第2会場

【シンポジウム趣旨】

団塊の世代が75歳以上となる2025年まであと3年と迫るなか、地域包括ケアシステムの構築が急がれているが、その進捗状況は地域により大きく異なっている。また、地域により連携のニーズが異なるので、他の地域における先進事例は参考にはなるが、実際に活用することは難しいとのご意見もいただく。

そこで、今回は多職種連携の基本のうち「他職種の業務内容と患者(利用者)に対する視点の違い」を理解して連携に活かすことを目的にシンポジウムを企画した。模擬症例の検討では、ご参加の皆様による積極的なご発言をお願いしたい。

【このシンポジウムに参加すると】

- ・地域包括ケアにおける他職種の業務について理解できます。
- ・症例検討を通じて多(他)職種の視点を理解できます。
- ・地域包括ケアにおける歯科の役割について参加者で考えて共有します。

座長：岩佐 康行（原土井病院歯科／摂食・栄養支援部）
渡部 芳彦（東北福祉大学健康科学部 医療経営管理学科）

- 演者：SY5-1 「2040年問題に向けた摂食嚥下センターの立ち位置と歯科医師の役割」
我妻 将喜（医療法人社団 徳風会 高根病院 外科）
- SY5-2 「シームレスな栄養管理と管理栄養士の役割」
本川 佳子（東京都健康長寿医療センター研究所 自立促進と精神保健研究チーム）
- SY5-3 「地域包括ケアシステムにおける多職種連携の課題と展望
～ケアマネジャーの立場から～」
白木 裕子（株式会社フジケア）

SY6 シンポジウム6（認知症）

「認知症の人の歯科治療：地域特性に合った連携とは」

〈専〉

現地 + LIVE配信 6月11日(土) 10:50-12:20 第2会場

【シンポジウム趣旨】

認知症施策推進大綱においても歯科における認知症対応力向上を進めている一方で、未だ実際の地域連携が進んでいるとはいえません。“認知症の人の歯科治療”を、診療報酬を算定できるプレパレーションに留まるものではなく、“歯科医師・歯科衛生士が関わるすべての取り組み”をとらえるならば、“認知症の人の口腔の諸問題に関する地域での連携”を推進するために私たちに何ができるでしょうか。本シンポジウムにおいては、認知症の人の生活支援をするために、口腔の健康と食を通じて、クリニックの枠を越えて様々な社会資源と連携しながら歯科医師・歯科衛生士ができる取り組みについて、地域特性も踏まえながら、これからの可能性について議論したいと思います。

【このシンポジウムに参加すると】

- ・認知症の人の生活をとりまく地域の医療介護保険福祉の連携のあり方について理解が深まる。
- ・認知症の人の生活を支える在宅診療，社会的処方考え方について理解が深まる。
- ・地域特性に応じた，口腔の健康と食を通じた認知症の人の生活支援への歯科の取り組みが理解できる。
- ・医療介護関係者の口腔の健康に対する知識関心のゆるやかな醸成につながる。

座長：枝広 あや子（東京都健康長寿医療センター研究所）
高田 靖（東京都豊島区歯科医師会）

- 演者：SY6-1 「老年科医の立場からみた認知症診療のトレンドと医科歯科連携」
山口 潔（医療法人社団創福会 ふくろうクリニック等々力）
- SY6-2 「社会資源が少ない地域の連携」
澤田 弘一（鏡野町国民健康保険上齋原歯科診療所）
- SY6-3 「【東京都大田区】特別養護老人ホーム摂食嚥下指導事業について」
細野 純（細野歯科クリニック）

SY7 シンポジウム7 (医工連携)

「高齢者歯科医療のためのICT」

〈専〉

現地 + LIVE配信 6月11日(土) 14:50-16:10 第2会場

【シンポジウム趣旨】

高齢者歯科分野においてもICT技術を用いた口腔衛生管理・食事の見守りやモバイルデバイスを用いた口腔機能評価などの取り組みが始まっている。また、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、オンライン歯科診療や摂食嚥下リハビリテーションなども行われるようになってきた。今後、このようなデジタル技術の応用はさらに広がっていくと考えられ、パラダイムシフトに対応することが求められる。一方で、情報ネットワークにおけるセキュリティといった留意すべき点もあるだろう。本シンポジウムでは、高齢者歯科にかかわるオンライン診療や評価の実際、ICTシステム・セキュリティに関する最新技術や注意点について4名の先生方にご講演いただきます。

【このシンポジウムに参加すると】

- ・高齢者歯科におけるICTの最新情報を得ることができる。
- ・オンライン診療の実際を理解することができる。
- ・情報セキュリティに関する注意点を把握することができる。

座長：佐々木 誠 (岩手大学理工学部 システム創成工学科 バイオ・ロボティクス分野)

堀 一浩 (新潟大学大学院医歯学総合研究科 包括歯科補綴学分野)

演者：SY7-1 「XR技術を用いた介助歯磨きスキル訓練システム」

佐々木 誠 (岩手大学理工学部 システム創成工学科 バイオ・ロボティクス分野)

SY7-2 「モバイル機器を用いた咀嚼能率および舌苔付着度の画像解析」

大川 純平 (新潟大学大学院医歯学総合研究科 包括歯科補綴学分野)

SY7-3 「摂食嚥下障害に対するオンライン診療について」

原 豪志 (神奈川歯科大学 障害者歯科学分野)

SY7-4 「高齢者オンライン医療におけるセキュリティ上の注意点」

丸山 司郎 (新潟大学情報基盤センター)

SY8 シンポジウム8 (ガイドライン委員会)

「急性期脳卒中患者の口腔管理に関するガイドライン」

〈指〉

現地 + LIVE配信 6月11日(土) 16:20-17:40 第2会場

【シンポジウム趣旨】

急性期の脳卒中患者に対する口腔管理が重要であることは示されてきているが、全身疾患をもつ患者に対する歯科介入には都市伝説のような情報がまかり通っていることがある。したがって、実際の介入に対する標準化のもととなるエビデンスの現状を整理する必要がある。本シンポジウムでは、現在作成中の急性期脳卒中患者の口腔管理に関するガイドラインのうちいくつかのCQを紹介し、エビデンスがどこまで集積されているか、および今後どのようなエビデンスが必要かなどを考えてみたい。

【このシンポジウムに参加すると】

- ・急性期脳卒中患者への口腔管理のあり方が理解できる。
- ・急性期脳卒中患者への更なる医科歯科連携の推進のための情報を得ることができる。

座長：戸原 玄 (東京医科歯科大学 摂食嚥下リハビリテーション学分野)
堀 一浩 (新潟大学大学院医歯学総合研究科 包括歯科補綴学分野)

演者：SY8-1 「急性期脳卒中患者に対する早期からの口腔衛生管理は有益か？」
吉見 佳那子 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 摂食嚥下リハビリテーション学分野)

SY8-2 「脳卒中急性期患者の口腔ケアの頻度や一回にかかる時間は、どの程度が望ましいか？」
山口 真広 (福岡歯科大学 高齢者歯科学分野)

SY8-3 「脳卒中急性期の抜歯は脳卒中の再発のリスクファクターか？」
大橋 伸英 (札幌医科大学医学部 衛生学講座/札幌医科大学医学部 口腔外科学講座)

SY8-4 「歯周疾患は、脳卒中発症と関連性があるか？」
水谷 慎介 (九州大学大学院歯学研究院附属OBT研究センター/九州大学大学院歯学研究院 口腔顎顔面病態学講座 高齢者歯科学・全身管理歯科学分野)

SY9 シンポジウム9 (スポンサードシンポジウム)

「咀嚼研究の最新像」

〈専〉

現地 + LIVE配信 6月12日(日) 9:00-10:00 第1会場

【シンポジウム趣旨】

咀嚼は、動物が生きていくために欠かせない摂食機能の中でも重要な役割を果たしています。このような観点から、近年、咀嚼を口腔機能にとどめず、全身の健康や脳機能、嚥下機能との関連を焦点としたトランスレーショナルな研究が行われてきています。本シンポジウムでは、口腔生理学、摂食嚥下リハビリテーション学、歯科補綴学、高齢者歯科学といった多角的な視点で咀嚼機能に関わる研究内容をレビューし、3名の先生方から咀嚼と全身との関連を、最新の研究結果とともにわかりやすくご講演いただきます。

【このシンポジウムに参加すると】

- ・咀嚼機能と全身との関連を理解することができる。
- ・口腔生理学、摂食嚥下リハビリテーション学、歯科補綴学、高齢者歯科学といった多角的な視点から咀嚼機能を考えることができる。
- ・咀嚼機能の評価、維持向上の重要性を理解することができる。

座長：井上 誠 (新潟大学大学院医歯学総合研究科 摂食嚥下リハビリテーション学分野)
山村 健介 (新潟大学大学院医歯学総合研究科 口腔生理学分野)

演者：SY9-1 「咀嚼嚥下のプロセスを生体記録と食塊物性から評価する」
真柄 仁 (新潟大学医歯学総合病院 摂食嚥下機能回復部)

SY9-2 「咀嚼能力と全身健康 -咀嚼チェックガムを用いた咀嚼能力評価-」
濱 洋平 (東京医科歯科大学 高齢者歯科学分野)

SY9-3 「咀嚼と脳機能 -たべることが脳にもたらす変化-」
長谷川 陽子 (新潟大学大学院医歯学総合研究科 包括歯科補綴学分野)

共催：株式会社ロツテ

SY10 シンポジウム10（在宅歯科医療委員会）

「機能改善を望めない高齢患者の歯科診療指針策定のためのケーススタディ」

〈指〉

現地 + LIVE配信 6月12日(日) 10:10-11:30 第1会場

【シンポジウム趣旨】

従来は、歯科疾患の予防や咬合の維持、再構築は口腔機能を支え、QOLの維持や、生命予後をも延伸させると考えてきた。しかし、生命予後がある程度確定した時期においては、上記の取り組みは、意味を持たず、歯科疾患の発症をある程度受け入れざるを得ない時期が訪れる。また、歯科疾患が口腔機能や全身状態に重大な影響をしないうちに生命が尽きることが予想される場合には、歯科治療をしないことや、咬合の再構成をしないこともある。このような、機能改善を望めない時期に対する、歯科診療のガイドラインは存在しないが、諸家によって意見も分かれることと思われる。本シンポジウムでは、経験の豊富な4名の講師から、活動の経験をお話しいただいた上で、具体的なケースに関して、総合討論を行い、「機能改善を望めない高齢患者の歯科診療指針策定」につなげたいと思う。

【このシンポジウムに参加すると】

- ・ 人生の最終段階における口腔内の状態を知る。
- ・ 機能改善を望めない高齢患者に対する歯科医療の目標を考える。

座長：佐藤 裕二（昭和大学歯学部 高齢者歯科学講座）
小玉 剛（日本歯科医師会）

演者：SY10-1 花形 哲夫（花形歯科医院）
SY10-2 三木 次郎（三木歯科医院）
SY10-3 菊谷 武（日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック）
SY10-4 猪原 光（猪原歯科・リハビリテーション科）

SY11 シンポジウム11（特任委員会（病院歯科））

「高齢者を支える病院歯科の普及について語り合おう！」

〈指〉

現地 + LIVE配信 6月12日(日) 14:10-16:00 第1会場

【シンポジウム趣旨】

高齢者に対応する病院歯科の普及について、ベテラン歯科医師と若手歯科医師でシンポジウムを行う。ベテランには、病院歯科という雇用を創出・拡充するために実践してきたこと、今後の展望・現在の問題点について提示していただき、若手には現在の病院歯科活動の実際と、病院歯科で勤務するのに必要な知識・技術について、病院歯科勤務希望の若手歯科医師の参考になるよう紹介いただく。これらの話を基に討論を実施し、現時点で病院歯科の普及を妨げていることや、今後の課題を明確化し、日本老年歯科医学会としての病院歯科に関するステートメントを作成したいと考えている。

【このシンポジウムに参加すると】

- ・ 高齢者に対応する病院歯科について理解できる。
- ・ 病院歯科における医科歯科連携・地域医療連携について理解できる。

座長：大野 友久（浜松市リハビリテーション病院歯科）

演者：SY11-1 「市中病院と関連施設での病院歯科の展開」

岩佐 康行（原土井病院歯科／摂食・栄養支援部）

SY11-2 「大学病院と市中病院での病院歯科の展開」

曾我 賢彦（岡山大学病院 医療支援歯科治療部）

SY11-3 「市中病院と地域における病院歯科活動」

長谷 剛志（公立能登総合病院 歯科口腔外科）

SY11-4 「医学部歯科口腔外科での病院歯科活動」

岡本 美英子（藤田医科大学医学部 歯科・口腔外科学講座）

SY11-5 「市中病院で医師から求められる歯科医師になるために」

松村 香織（公立八女総合病院 歯科口腔外科）

SY12 シンポジウム12（支部・地域保健医療福祉委員会）

「地域包括ケアにおける高齢者栄養支援に歯科はどうかかわるか？」

〈指〉〈専〉

現地 + LIVE配信 6月12日(日) 9:40-11:30 第2会場

【シンポジウム趣旨】

2014年に医療介護総合確保推進法が整備され、その中で地域包括ケアシステム構築が謳われた。2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築が進められている。本システムは、保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが求められている。本シンポジウムでは、高齢者栄養支援に関して歯科との連携が重要視される中、その体制づくりなどを「地域包括ケア」をキーワードに地域特性などを踏まえ情報交換する。

【このシンポジウムに参加すると】

- ・地域包括ケアについて理解が深まる。
- ・地域での高齢者栄養支援体制の在り方についての情報を得られる。
- ・地域特性を活かした歯科と高齢者栄養支援との連携について学ぶことができる。

座長：平野 浩彦（東京都健康長寿医療センター 歯科口腔外科）

糸田 昌隆（大阪歯科大学附属病院 口腔リハビリテーション科／医療保健学部）

演者：SY12-1 「口腔保健センターと栄養ケアステーションとの連携」

高田 靖（公益社団法人 東京都豊島区歯科医師会）

SY12-2 「美味しいを地域で支えよう！「くりやま健口になっちゃうかい!?」の取り組み」

真井 睦子（日本赤十字社 栗山赤十字病院 医療技術部栄養課）

SY12-3 「地域高齢者の低栄養を防止せよ！

～歯科からはじまる”社会的処方”と”通いの場”へのかかわり方～」

丸岡 三紗（まんのう町国民健康保険造田歯科診療所）

SY13 シンポジウム13（歯科衛生士関連委員会）

「歯科衛生士のリサーチマインド～高齢者への根拠ある口腔健康管理の実践を目指して～」

〈DH〉

現地 + LIVE配信 6月12日(日) 14:10-16:00 第2会場

【シンポジウム趣旨】

これからの歯科衛生士には、根拠ある口腔健康管理の実践のため、研究によりエビデンスを創出することが求められている。日々の臨床において生じた疑問を解決する視点、すなわち「リサーチマインド」を持つことが、最終的には対象者のQOLに寄与することとなる。しかし、一方で、歯科衛生士が研究を進める上では、研究の環境等の障壁が存在しているのも事実である。本シンポジウムでは、特に老年歯科医学に関連する分野で研究に取り組む歯科衛生士が、研究の視点、研究の意義と臨床への応用について紹介し、研究上の課題や目指すべき方向性を提言することによって、今後の歯科衛生士の研究活動の発展につなげたい。

【このシンポジウムに参加すると】

- ・歯科衛生士が研究に取り組む目的、社会的意義への理解が深まる。
- ・歯科衛生士が取り組む研究の具体像を理解できる。
- ・高齢者歯科保健の実践から生じた臨床的・クエスチョンを、リサーチ・クエスチョンに発展させる過程を理解できる。

座長：伊藤 加代子（新潟大学医歯学総合病院 口腔リハビリテーション科）

森下 志穂（明海大学保健医療学部 口腔保健学科）

演者：SY13-1 「エビデンスを活用する側から創出・発信する立場へ
—歯科衛生士が研究に取り組むために—」

小原 由紀（東京都健康長寿医療センター研究所 自立促進と精神保健研究チーム）

SY13-2 「リサーチマインドを持つ歯科衛生士を目指して」

末永 智美（北海道医療大学病院／北海道医療大学在宅歯科診療所）

SY13-3 「歯科衛生研究が「伝わる」一言になる！地域での実践例」

三好 早苗（広島大学大学院医系科学研究科 公衆口腔保健学研究室）

SY13-4 「私が目指す研究との向き合い方 —気づき、学び、そしてつながり—」

中山 良子（岡山市立市民病院 診療技術部 リハビリテーション技術科）

共催セミナー

LS1 ランチョンセミナー1

現地 + LIVE配信 6月11日(土) 12:30-13:30 第1会場

「咀嚼によるメタボ予防とオーラルフレイル・フレイル予防」

座長：増田 裕次 (松本歯科大学総合歯科医学研究所 顎口腔機能制御学部門)

演者：LS1-1 松尾 浩一郎 (東京医科歯科大学大学院 地域・福祉口腔機能管理学分野)

LS1-2 堀 一浩 (新潟大学大学院歯医学総合研究科 包括歯科補綴学分野)

共催：シャープ株式会社, 株式会社フードケア, 東京医科歯科大学JST-SICORP(JPMJSC1813)

LS2 ランチョンセミナー2

現地 + LIVE配信 6月11日(土) 12:30-13:10 第2会場

「超高齢社会におけるS-PRGフィラー含有歯科材料への期待」

演者：猪越 正直 (東京医科歯科大学大学院歯医学総合研究科 高齢者歯科学分野)

共催：株式会社松風

LS3 ランチョンセミナー3

現地 + LIVE配信 6月11日(土) 12:30-13:30 第3会場

「サクサク！パリパリ！もぐもぐ！『食べる』豊かさと生きる質」

座長：上田 貴之 (東京歯科大学 老年歯科補綴学講座)

演者：長谷 剛志 (公立能登総合病院 歯科口腔外科)

共催：株式会社クリニコ

LS4 ランチョンセミナー4

現地 + LIVE配信 6月11日(土) 12:30-13:30 第4会場

「新しい咬合力計測システムについて」

座長：池邊 一典 (大阪大学大学院歯学研究科 有床義歯補綴学・高齢者歯科学分野)

演者：平野 浩彦 (東京都健康長寿医療センター病院歯科口腔外科, 研究所 自立促進と精神保健研究チーム)

共催：住友理工株式会社

LS5 ランチョンセミナー5

現地 + LIVE配信 6月12日(日) 13:00-14:00 第1会場

「健康長寿 鍵は“食力” ～オーラルフレイル予防の狙い～」

座長：平野 浩彦 (東京都健康長寿医療センター病院 歯科口腔外科)

演者：飯島 勝矢 (東京大学 高齢社会総合研究機構・未来ビジョン研究センター)

共催：サンスター株式会社

LS6 ランチョンセミナー6

現地 + LIVE配信 6月12日(日) 13:00-13:40 第2会場

「歯科衛生士と歯科医師、薬学研究者がコラボした新製品開発秘話
～新型コロナとドライマウス対策で偶然発明した革新的な口腔ケア用品～」

座長：野原 幹司 (大阪大学大学院歯学研究科 顎口腔機能治療学教室)

演者：阪井 丘芳 (大阪大学大学院歯学研究科 顎口腔機能治療学教室)

共催：アース製薬株式会社

LS7 ランチョンセミナー7

現地 + LIVE配信 6月12日(日) 13:00-14:00 第3会場

「咀嚼を測る・鍛える：グミゼリーの活用法とその効果」

座長：木戸 寿明 (新潟県歯科医師会)

演者：LS7-1 「臨床で咀嚼能力測定をどう活用するか？」

村上 和裕 (新潟大学大学院医歯学総合研究科 包括歯科補綴学分野)

LS7-2 「咀嚼能力と全身の健康との関わり」

高阪 貴之 (大阪大学大学院歯学研究科 顎口腔機能再建学講座 有床義歯補綴学・高齢者歯科学分野)

共催：UHA味覚糖株式会社

SWS スウィーツセミナー

現地 + LIVE配信 6月11日(土) 14:50-15:50 第4会場

「義歯安定剤の選択方法と患者さんへの説明の仕方のポイント」

座長：櫻井 薫 (こばやし歯科クリニック)

演者：上田 貴之 (東京歯科大学 老年歯科補綴学講座)

共催：グラクソ・スミスクライン・コンシューマー・ヘルスケア・ジャパン株式会社

Meet the President：理事長としゃべり場 多職種会員との交流会

「高齢者のために老年歯科は多職種とどのように連携すればいいのか？」

LIVE配信(TwitCasting) 6月12日(日) 10:40-11:30 現地聴講不可

【要旨】

日本老年歯科医学会は、他の学会と比較し、多職種の会員が多く、高齢者のために連携しながら貢献する気持ちが高い学会です。

前回の学術大会で好評を博した広報委員会による「しゃべり場：“Meet the President”」今年も、理事長と多職種の皆さまがオンラインで日曜日の朝、気軽に意見を交わします。

モーニングコーヒーなどを片手に皆さんによる、しゃべり場をお楽しみください。

進行：貴島 真佐子 (広報委員会委員)

参加者：水口 俊介 (理事長)・小野 高裕 (学術大会大会長)・多職種の皆さま

課題口演1

地域包括ケアシステム

現地 + LIVE配信 6月11日(土) 8:50-10:10 第4会場

課題1-1 地域包括ケア病床における栄養と歯科の連携のカタチ ～食形態と栄養状態、身体機能、転帰の関連～

○澤 幸子
公仁会鹿島病院診療部栄養課

課題1-2 急性期病院NST対象患者に対する多職種連携による口腔管理の効果

○鈴木 啓之¹⁾、古屋 純一^{2,3)}、中川 量晴³⁾、中根 綾子³⁾、吉見 佳那子³⁾、日高 玲奈⁴⁾、戸原 玄³⁾、佐藤 裕二²⁾、守澤 正幸⁵⁾、水口 俊介¹⁾
¹⁾東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 高齢者歯科学分野、²⁾昭和大学歯学部 高齢者歯科学講座、³⁾東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 摂食嚥下リハビリテーション学分野、⁴⁾東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 地域・福祉口腔機能管理学分野、⁵⁾もりざわ歯科・矯正歯科

課題1-3 無歯科医地区における在住高齢者の歯科受診に関する実態調査

○南 ひかる¹⁾、花形 哲夫⁴⁾、笠井 隆司⁴⁾、山田 幸^{1,2)}、田中 公美^{1,2)}、菊谷 武^{1,2,3)}
¹⁾日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック、²⁾日本歯科大学附属病院口腔リハビリテーション科、³⁾日本歯科大学大学院生命歯学研究科 臨床口腔機能学、⁴⁾山梨県歯科医師会

課題1-4 オーラルフレイルと後期高齢者の医療費との関連

○新井 絵理¹⁾、渡邊 裕¹⁾、中川 紗百合¹⁾、小原 由紀²⁾、岩崎 正則²⁾、平野 浩彦²⁾、池邊 一典³⁾、小野 高裕⁴⁾、飯島 勝矢⁵⁾、足立 融⁶⁾、渡部 隆夫⁶⁾、山崎 裕¹⁾
¹⁾北海道大学大学院歯学研究院 口腔健康科学分野 高齢者歯科学教室、²⁾地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター、³⁾大阪大学大学院歯学研究科 有床義歯補綴学・高齢者歯科学分野、⁴⁾新潟大学大学院医歯学総合研究科 包括歯科補綴学分野、⁵⁾東京大学 高齢社会総合研究機構、⁶⁾一般社団法人 鳥取県歯科医師会

課題1-5 カムカム健康プログラムによるオーラルフレイル予防効果

ー長野県シニア大学松本・大北学部での検証ー

増田 裕次¹⁾、○松尾 浩一郎²⁾、仲座 海希³⁾、金澤 学⁴⁾、糸田 昌隆⁵⁾、小川 康一⁶⁾、鈴木 健嗣⁷⁾、田中 友規⁸⁾、飯島 勝矢⁸⁾
¹⁾松本歯科大学総合歯科医学研究所、²⁾東京医科歯科大学大学院 地域・福祉口腔機能管理学分野、³⁾松本歯科大学大学院歯学独立研究科、⁴⁾東京医科歯科大学大学院 口腔デジタルプロセス学分野、⁵⁾大阪歯科大学医療保健学部 口腔保健学科、⁶⁾株式会社フードケア トータルケア事業部、⁷⁾筑波大学 システム情報系、⁸⁾東京大学 高齢社会総合研究機構・未来ビジョン研究センター

課題口演2

口腔機能低下症

現地 + LIVE配信 6月11日(土) 10:30-11:50 第4会場

課題2-1 地域在住高齢者における咀嚼機能、舌運動機能と身体的プレフレイルとの関連について：糸島フレイル研究

○谷 明日香¹⁾、水谷 慎介^{1,2)}、奥 菜央理¹⁾、伊與田 清美¹⁾、井上 良介¹⁾、岸本 裕歩³⁾、柏崎 晴彦¹⁾
¹⁾九州大学大学院歯学研究院 口腔顎顔面病態学講座 高齢者歯科学・全身管理歯科学分野、²⁾九州大学大学院歯学研究院附属OBT研究センター、³⁾九州大学基幹教育院自然科学理論系部門

課題2-2

舌超音波画像の輝度は、身体的フレイルと関係する

- 田上 義弘、藤本 けい子、水頭 英樹、岸本 卓大、岩脇 有軌、後藤 崇晴、渡邊 恵、永尾 寛、市川 哲雄
徳島大学大学院医歯薬学研究部 口腔顎顔面補綴学分野

課題2-3

当院外来通院患者に対する口腔機能低下症の評価および管理指導の検討

- 小貫 和佳奈^{1,2)}、真柄 仁²⁾、伊藤 加代子³⁾、辻村 恭憲¹⁾、井上 誠^{1,2,3)}
¹⁾新潟大学大学院医歯学総合研究科 摂食嚥下リハビリテーション学分野、
²⁾新潟大学医歯学総合病院 摂食嚥下機能回復部、³⁾新潟大学医歯学総合病院 口腔リハビリテーション科

課題2-4

発話音声解析による高齢者の口腔機能推定の可能性の検討

- 加藤 陽子¹⁾、中嶋 絢子³⁾、苅安 誠^{4,5)}、菊谷 武^{1,2)}
¹⁾日本歯科大学大学院生命歯学研究科 臨床口腔機能学、
²⁾日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック、³⁾パナソニック株式会社エレクトリックワークス社、
⁴⁾ヒト・コミュニケーション科学ラボ、⁵⁾潤和リハビリテーション診療研究所

課題2-5

口腔機能低下症診断項目と摂食嚥下障害、フレイル、サルコペニアとの関連

- 高橋 賢晃¹⁾、菊谷 武^{1,2)}、戸原 雄¹⁾、保母 妃美子¹⁾、磯田 友子¹⁾、古屋 裕康¹⁾、仲澤 裕次郎¹⁾、田中 公美¹⁾、宮下 大志¹⁾、加藤 陽子²⁾、田村 文誉¹⁾
¹⁾日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック、
²⁾日本歯科大学大学院生命歯学研究科 臨床口腔機能学

一般口演 1

実態調査

現地 + LIVE配信 6月11日(土) 8:50-9:50 第3会場

座長：會田 英紀（北海道医療大学歯学部生体機能・病態学系高齢者・有病者歯科学分野）

01-1

回復期リハビリテーション病院入院患者の口腔健康管理ニーズと生活機能との関連

- 原 隆蔵¹⁾、古屋 純一¹⁾、佐藤 裕二¹⁾、桑澤 実希¹⁾、畑中 幸子¹⁾、向井 友子¹⁾、戸田山 直輝¹⁾、赤穂 和樹¹⁾、川手 信行²⁾、弘中 祥司³⁾
¹⁾昭和大学歯学部 高齢者歯科学講座、²⁾昭和大学医学部リハビリテーション医学講座、
³⁾昭和大学歯学部 スペシャルニーズ口腔医学講座 口腔衛生学部門

01-2

昭和大学病院 歯科・歯科口腔外科における周術期等口腔機能管理の現状と課題

- 山口 麻子^{1,2)}、柴田 由美^{1,3)}、内海 明美⁴⁾、弘中 祥司⁴⁾
¹⁾昭和大学病院 歯科・歯科口腔外科、
²⁾昭和大学歯学部 スペシャルニーズ口腔医学講座 地域連携歯科学部門、
³⁾昭和大学大学院保健医療学研究科、⁴⁾昭和大学歯学部 スペシャルニーズ口腔医学講座 口腔衛生学部門

01-3

歯科診療所通院患者における「口腔機能低下症」と「食事」についての実態調査（第2報）

- 廣岡 咲^{1,2)}、井尻 吉信^{1,2)}、佐々木 陽花²⁾、奥田 宗義³⁾、小野 一行⁴⁾
¹⁾大阪樟蔭女子大学大学院 人間科学研究科 人間栄養学専攻 臨床栄養学研究室、
²⁾大阪樟蔭女子大学 健康栄養学部 健康栄養学科 臨床栄養学研究室、³⁾奥田歯科診療所、
⁴⁾医療法人栄知会 小野歯科医院

01-4

医療療養・介護医療院における口腔機能低下症を有する非経口摂取粘膜処置患者の転帰についての調査

- 中島 正人¹⁾、原田 真澄²⁾、熊谷 さおり²⁾、福田 安理¹⁾、牧野 路子¹⁾、森田 浩光¹⁾、阪口 英夫³⁾
¹⁾福岡歯科大学総合歯科学講座 訪問歯科センター、²⁾医療法人永寿会シーサイド病院、
³⁾医療法人永寿会陵北病院

- 01-5 **ターミナルケアと歯科医療についてのDVD教材を用いた啓発**
 ○小向井 英記^{1,2,3)}、今井 裕子²⁾、東浦 正也^{1,2)}、中嶋 千恵²⁾、福辻 智^{1,2)}、溝上 裕久¹⁾、
 平山 隆浩¹⁾、高橋 一也³⁾
¹⁾一般社団法人 奈良県歯科医師会、²⁾医療法人 小向井歯科クリニック、³⁾大阪歯科大学高齢者歯科学講座
- 01-6 **歯科用局所麻酔薬の効果、使い分け、偶発症に関するアンケート調査**
 ○北川 栄二
 JR札幌病院歯科口腔外科

一般口演2

全身管理・全身疾患

現地 + LIVE配信 6月11日(土) 10:00-11:00 第3会場

座長：柏崎 晴彦（九州大学大学院歯学研究院 口腔顎顔面病態学講座 高齢者歯科学・全身管理歯科学分野）

- 02-1 **歯肉の自然出血からマクログロブリン血症の診断に至った症例**
 ○大岩 大祐、飯田 彰、福島 和昭、石田 義幸、小野 智史
 日之出歯科真駒内診療所
- 02-2 **薬剤性開咬と思われた、うつ病患者の一例**
 ○梅崎 陽二郎、江頭 留依、山口 真広、内藤 徹
 福岡歯科大学総合歯科学講座 高齢者歯科学分野
- 02-3 **高齢者に対して当院で実施した静脈内鎮静下歯科治療**
 ○旭 吉直^{1,2)}、宮本 順美^{1,2)}、杉本 有加²⁾、大道 士郎^{1,2)}
¹⁾社会医療法人大道会森之宮病院 歯科診療部、²⁾社会医療法人大道会ボバース記念病院 歯科診療部
- 02-4 **歯肉出血を契機に再生不良貧血が診断された1例**
 ○清水 梓¹⁾、森 美由紀¹⁾、河合 絢¹⁾、齊藤 美香¹⁾、大鶴 洋^{1,2)}、平野 浩彦¹⁾
¹⁾東京都健康長寿医療センター、²⁾東京都
- 02-5 **パーキンソン病が口腔衛生管理に及ぼす影響について**
 ○梅田 愛里¹⁾、溝江 千花¹⁾、岩下 由樹²⁾、芥川 礼奈²⁾、道津 友里子²⁾、梅本 丈二²⁾
¹⁾福岡大学病院 歯科口腔外科、²⁾福岡大学病院 摂食嚥下センター
- 02-6 **コロナ禍での歯科介入頻度の変化が施設入居者の病院搬送件数に及ぼす影響**
 ○立松 正志
 クリニックサンセール清里

一般口演3

症例・施設

現地 + LIVE配信 6月11日(土) 11:10-12:10 第3会場

座長：中島 純子（東京歯科大学 オーラルメディシン・病院歯科学講座）

- 03-1 **中咽頭癌術後再発による疼痛に対し下顎孔アプローチによる神経ブロックが効奏した1例**
 ○臼淵 公敏
 宮城県立がんセンター 歯科

- 03-2 **上顎総義歯の新製後に口蓋に生じた乳頭状唾液腺腺腫の1例**
○栗原 智尋、加藤 禎彬、星野 照秀、片倉 朗
東京歯科大学 口腔病態外科学講座
- 03-3 **通院困難な高齢患者の筋筋膜痛に対して「医療アプリ」を活用した理学療法が有効であった1例**
○中山 詩織、臼田 頌、西山 留美子、中川 種昭、堀江 伸行
慶應義塾大学病院歯科口腔外科
- 03-4 **ネオナイシン-e配合口腔用ジェルによる口腔衛生管理で口腔カンジダ症が改善した筋萎縮性側索硬化症の一例**
○橋詰 桃代、野本 亜希子、波多野 真智子、大野 友久
浜松市リハビリテーション病院
- 03-5 **COVID-19感染後に経口摂取困難となり摂食嚥下リハビリテーションを実施した症例**
○石川 唯¹⁾、黒田 直希¹⁾、佐藤 志穂¹⁾、市川 陽子¹⁾、北詰 栄里^{2,3)}、菊谷 武^{1,4)}
¹⁾日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック、²⁾日本医科大学武蔵小杉病院 歯科、
³⁾日本歯科大学附属病院 口腔外科、⁴⁾日本歯科大学大学院生命歯学研究科 臨床口腔機能学
- 03-6 **超音波診断装置を用いた舌癌頸部郭清術後患者の嚥下関連筋の筋量の評価の経時的変化**
○貴島 真佐子^{1,2,4)}、今井 美季子²⁾、柏木 宏介³⁾、糸田 昌隆^{2,4)}
¹⁾社会医療法人若弘会 わかくさ竜岡リハビリテーション病院、
²⁾大阪歯科大学附属病院 口腔リハビリテーション科、³⁾大阪歯科大学 有歯補綴咬合学講座、
⁴⁾大阪歯科大学医療保健学部 口腔保健学科

一般口演4

連携医療・地域医療/介護・介護予防

現地 + LIVE配信 6月11日(土) 14:50-15:50 第3会場

座長：石田 瞭（東京歯科大学 摂食嚥下リハビリテーション研究室）

- 04-1 **摂食機能障害患者への急性期病院から在宅診療へのシームレスな介入へ向けて**
○中尾 幸恵¹⁾、谷口 裕重²⁾、大塚 あつ子²⁾、浅野 一信³⁾、中澤 悠里¹⁾、近石 壮登¹⁾、
近石 登喜雄⁴⁾
¹⁾近石病院 歯科・口腔外科、²⁾朝日大学歯学部 摂食嚥下リハビリテーション学分野、
³⁾朝日大学病院 栄養科、⁴⁾近石病院 外科
- 04-2 **在宅医科診療所との医科歯科連携の推進にむけた取り組みの活動報告**
○齋藤 貴之
ごはんがたべたい歯科クリニック
- 04-3 **郡市区歯科医師会と連携した訪問診療下での嚥下機能評価**
○稲川 元明¹⁾、倉持 真理子¹⁾、木村 将典¹⁾、薬師寺 孝¹⁾、村川 正紀²⁾、鎌田 政善³⁾
¹⁾高崎総合医療センター 歯科口腔外科、²⁾むらかわ歯科、³⁾とちはら歯科
- 04-4 **骨吸収抑制薬を使用している離島在住高齢患者の抜歯を離島医師と医科歯科連携した3症例**
○寺本 祐二¹⁾、久保 桐子¹⁾、中井 久²⁾
¹⁾寺本歯科医院、²⁾中井歯科医院

- 04-5 **地域在住高齢者における認知機能低下と口腔機能およびソーシャル・キャピタルとの関連**
○竹内 倫子¹⁾、澤田 ななみ²⁾、鷺尾 憲文³⁾、澤田 弘一⁴⁾、江國 大輔⁵⁾、森田 学⁵⁾
¹⁾岡山大学病院歯科・予防歯科部門、²⁾岡山大学大学院医歯薬学総合研究科予防歯科学分野、
³⁾鏡野町国民健康保険富歯科診療所、⁴⁾鏡野町国民健康保険上齋原歯科診療所、
⁵⁾岡山大学学術研究院医歯薬学域予防歯科学分野

- 04-6 **経口維持加算算定対象者のMNA[®]-SFによる栄養評価と口腔状態、摂食嚥下機能との関連性**
○西岡 愛梨
大阪市立大学大学院 生活科学研究科

一般口演5

加齢変化・基礎研究1

現地 + LIVE配信 6月11日(土) 16:00-16:40 第3会場

座長：井上 誠 (新潟大学大学院医歯学総合研究科 摂食嚥下リハビリテーション学分野)

- 05-1 **三叉神経中脳路核神経細胞の加齢及び神経変性によるアミロイドβオリゴマーの拡散について**
○後藤 哲哉
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 歯科機能形態学分野
- 05-2 **嚥下障害患者が使用するとろみ剤が血糖値や消化管ホルモンに与える影響
—ラット遺伝子の発現量解析—**
○長澤 祐季、中川 量晴、吉見 佳那子、内田 有俊、吉澤 彰、玉井 斗萌、山口 浩平、
中根 綾子
東京医科歯科大学摂食嚥下リハビリテーション学分野
- 05-3 **嚥下関連筋群の疲労評価に関する基礎的検討**
玉田 泰嗣^{1,2)}、○高橋 陽助^{1,2,3)}、横浜 裕太⁴⁾、佐々木 誠⁵⁾、鮎瀬 卓郎^{2,3)}
¹⁾長崎大学病院 摂食嚥下リハビリテーションセンター、²⁾長崎大学病院 特殊歯科総合治療部、
³⁾長崎大学病院 麻酔生体管理科、⁴⁾岩手大学大学院総合科学研究科 バイオ・ロボティクス分野、
⁵⁾岩手大学理工学部 システム創成工学科
- 05-4 **頸部へのキネシオテーピングが嚥下運動における筋活動に及ぼす影響**
○高橋 陽助^{1,2,3)}、玉田 泰嗣^{1,2)}、横浜 裕太⁴⁾、佐々木 誠⁵⁾、鮎瀬 卓郎^{2,3)}
¹⁾長崎大学病院摂食嚥下リハビリテーションセンター、²⁾長崎大学病院特殊歯科総合治療部、
³⁾長崎大学病院麻酔生体管理科、⁴⁾岩手大学総合科学研究科 バイオ・ロボティクス分野、
⁵⁾岩手大学理工学部 システム創成工学科

一般口演6

加齢変化・基礎研究2

現地 + LIVE配信 6月11日(土) 16:50-17:40 第3会場

座長：梅本 丈二 (福岡大学病院摂食嚥下センター)

- 06-1 **高齢者の日常における嚥下頻度と嚥下関連筋の廃用の関連**
○川道 春奈¹⁾、野原 幹司¹⁾、尾花 綾²⁾、田中 信和¹⁾、阪井 丘芳¹⁾
¹⁾大阪大学大学院歯学研究科 高次脳口腔機能学講座 顎口腔機能治療学教室、
²⁾大阪大学歯学部附属病院 顎口腔機能治療部

- 06-2 **近赤外蛍光検査システムを応用した新しい嚥下機能評価に関する研究**
 ○齋木 章乃、吉見 佳那子、中川 量晴、長澤 祐季、吉澤 彰、山田 大志、中根 綾子、山口 浩平、戸原 玄
 東京医科歯科大学医歯学総合研究科 医歯学専攻老化制御学講座 摂食嚥下リハビリテーション学分野
- 06-3 **健常高齢者の水嚥下時舌運動**
 ○兒玉 匠平、佐藤 理加子、大川 純平、堀 一浩、小野 高裕
 新潟大学包括歯科補綴学分野
- 06-4 **固形食品摂取時の食塊形成過程における舌骨上筋群の機能的役割の検討**
 ○笹 杏奈、真柄 仁、辻村 恭憲、井上 誠
 新潟大学大学院医歯学総合研究科 摂食嚥下リハビリテーション学分野
- 06-5 **咀嚼の評価法を再考する**
 ○井上 誠^{1,2,3)}、辻村 恭憲¹⁾、真柄 仁²⁾、伊藤 加代子³⁾、高橋 肇⁴⁾、竹井 亮⁴⁾、高田 夏佳⁵⁾
¹⁾新潟大学大学院医歯学総合研究科 摂食嚥下リハビリテーション学分野、
²⁾新潟大学医歯学総合病院 摂食嚥下機能回復部、³⁾新潟大学医歯学総合病院 口腔リハビリテーション科、
⁴⁾亀田製菓株式会社 お米総合研究所 シーズ開発チーム、⁵⁾一正蒲鉾株式会社 技術研究部技術研究課

一般口演 7

口腔機能 1

現地 + LIVE配信 6月12日(日) 9:00-9:30 第3会場

座長：吉川 峰加 (広島大学大学院医系科学研究科 先端歯科補綴学)

- 07-1 **新型コロナウイルス感染症の蔓延が舌口唇運動機能に及ぼす影響
 –コロナ前後における比較について–**
 ○内田 淑喜、佐藤 裕二、古屋 純一、七田 俊晴、大澤 淡紅子、畑中 幸子、平良 仁美、田上 理沙子
 昭和大学歯学部 高齢者歯科学講座
- 07-2 **口腔機能と歯周病菌PCR検査の関連**
 ○内堀 典保、梶村 豊彦、渡邊 俊之、浅井 章夫、山中 一男、中村 剛久、竹内 克豊、森 幹太、加藤 正美、中根 敏盛、岡井 誠、真田 裕三、富田 健嗣、外山 敦史、武藤 直広
 一般社団法人愛知県歯科医師会
- 07-3 **統合失調症患者における口腔環境の実態調査**
 ○松原 ちあき^{1,2)}、今田 良子³⁾、山口 浩平³⁾、中川 量晴³⁾、吉見 佳那子³⁾、中根 綾子³⁾、日高 玲奈⁴⁾、古屋 純一^{5,3)}、坂東 誉子⁶⁾、日下 輝雄^{6,7,8)}、戸原 玄³⁾
¹⁾静岡県立大学短期大学部 歯科衛生学科、
²⁾東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 高齢者歯科学分野、
³⁾東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 摂食嚥下リハビリテーション学分野、
⁴⁾東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 地域・福祉口腔機能管理学分野、
⁵⁾昭和大学歯学部 高齢者歯科学講座、⁶⁾医療法人社団東京愛成会 高月病院、
⁷⁾経済産業省大臣官房会計課厚生企画室、⁸⁾東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 う蝕制御分野

一般口演8

口腔機能2

現地 + LIVE配信 6月12日(日) 9:35-10:15 第3会場

座長：吉田 光由 (藤田医科大学医学部 歯科口腔外科学講座)

08-1 自立支援型デイサービス利用者の日常生活自立度が、口腔機能向上プログラムの効果に及ぼす影響

○石田 晃裕¹⁾、堀部 耕広¹⁾、飯干 由茉²⁾、上田 貴之¹⁾

¹⁾東京歯科大学 老年歯科補綴学講座、²⁾東京歯科大学 水道橋病院 歯科衛生士部

08-2 介護老人福祉施設入所者におけるOAGによる機能障害分類とオーラルディアドコキネシス評価値との関係

○山中 大寛¹⁾、山口 摂崇¹⁾、武田 佳大¹⁾、村松 真澄²⁾、三浦 宏子³⁾、越智 守生¹⁾

¹⁾北海道医療大学歯学部 口腔機能修復・再建学系クラウンブリッジ・インプラント補綴学分野、

²⁾札幌市立大学 看護学部、³⁾北海道医療大学歯学部 口腔構造・機能発育学系保健衛生学分野

08-3 口腔機能低下症患者に対する1.5か月間の口腔機能管理の効果

○堀 綾夏、堀部 耕広、竜 正大、上田 貴之

東京歯科大学 水道橋病院 老年歯科補綴学講座

08-4 地域在住高齢者における心理的フレイルと咬合力との関連の検討

○明間 すずな、豆野 智昭、高橋 利士、八田 昂大、福武 元良、西村 優一、室谷 有紀、萩野 弘将、辻岡 義崇、三原 佑介、和田 誠大、池邊 一典

大阪大学大学院歯学研究科 顎口腔機能再建学講座 有床義歯補綴学・高齢者歯科学分野

一般口演9

口腔機能3

現地 + LIVE配信 6月12日(日) 14:10-14:40 第3会場

座長：田中 彰 (日本歯科大学新潟生命歯学部 口腔外科学講座)

09-1 当院における高齢者の顎骨区域切除における手術工夫

○中島 世市郎、中野 旬之、小越 菜保子、鈴木 慶、植野 高章

大阪医科薬科大学医学部 口腔外科学教室

09-2 大腿骨骨折術後高齢者の栄養状態、術後ADL、口腔・嚥下機能と術後肺炎の関連因子

○重本 心平¹⁾、堀 一浩²⁾、大溝 裕史³⁾、大川 純平²⁾、小野 高裕²⁾、宮島 久¹⁾

¹⁾会津中央病院 歯科口腔外科、²⁾新潟大学大学院医歯学総合研究科 包括歯科補綴学分野、

³⁾会津中央病院 歯科麻酔科

09-3 急性期病院入院患者における経口摂取再開と口腔機能の関連性の検討

○鈴木 美紅¹⁾、中島 純子²⁾、酒井 克彦²⁾、財津 愛¹⁾、青木 理佐¹⁾、大屋 朋子¹⁾、小松 万純²⁾、本田 健太郎²⁾、野村 武史³⁾、松浦 信幸²⁾

¹⁾東京歯科大学 市川総合病院 コ・デンタル部、²⁾東京歯科大学 オーラルメディシン・病院歯科学講座、

³⁾東京歯科大学 口腔腫瘍外科学講座

一般口演10

口腔機能4

現地 + LIVE配信 6月12日(日) 14:45-15:25 第3会場

座長：津賀 一弘 (広島大学大学院医系科学研究科 先端歯科補綴学)

- 010-1 **2種類の口唇閉鎖力測定器による口唇閉鎖力の比較と関連因子の検討**
○中島 純子¹⁾、酒井 克彦¹⁾、鈴木 美紅²⁾、財津 愛²⁾、青木 理佐²⁾、大屋 朋子²⁾、小松 万純¹⁾、
本田 健太郎¹⁾、野村 武史³⁾、松浦 信幸¹⁾
¹⁾東京歯科大学 オーラルメディシン・病院歯科学講座、²⁾東京歯科大学 市川総合病院 コ・デンタル部、
³⁾東京歯科大学 口腔腫瘍外科学講座
- 010-2 **頭部単純CT所見と咳テストの関連性**
○村瀬 玲奈、中根 綾子、原 良子、中川 量晴、山口 浩平、吉見 佳那子、戸原 玄
東京医科歯科大学歯学部大学院 摂食嚥下リハビリテーション学分野
- 010-3 **口腔乾燥症用義歯安定剤が実験用口蓋床の維持力に及ぼす影響**
○山根 邦仁、佐藤 裕二、古屋 純一、下平 修、七田 俊晴、北川 昇、池村 直也、角田 拓哉
昭和大学歯学部 高齢者歯科学講座
- 010-4 **歌唱中の音声・画像からの構音・嚥下機能の分類**
○平井 雄太¹⁾、耿 世嫻¹⁾、柳田 陵介²⁾、山田 大志²⁾、小野寺 宏¹⁾、戸原 玄²⁾、矢谷 浩司¹⁾
¹⁾東京大学 工学系研究科、²⁾東京医科歯科大学 摂食嚥下リハビリテーション学分野

一般口演11

口腔機能5

現地 + LIVE配信 6月12日(日) 15:30-16:00 第3会場

座長：皆木 省吾 (岡山大学 学術研究院医歯薬学域 口腔・顎・顔面機能再生制御学講座 咬合・有床義歯補綴学分野)

- 011-1 **口腔機能低下は高齢者の咀嚼時間を延長する**
○太田 緑¹⁾、西宮 文香¹⁾、飯干 由茉²⁾、櫻井 薫¹⁾、上田 貴之¹⁾
¹⁾東京歯科大学 老年歯科補綴学講座、²⁾東京歯科大学 水道橋病院 歯科衛生士部
- 011-2 **顎運動モーションキャプチャを用いた咀嚼能力評価法**
○今岡 正晃、奥野 健太郎、小淵 隆一郎、井上 太郎、高橋 一也
大阪歯科大学 高齢者歯科学講座
- 011-3 **唾液分泌抑制がもたらす固形食品摂取時の咀嚼嚥下運動への影響**
○落合 勇人¹⁾、小貫 和佳奈¹⁾、高田 夏佳²⁾、伊藤 加代子¹⁾、真柄 仁¹⁾、辻村 恭憲¹⁾、井上 誠¹⁾
¹⁾新潟大学大学院医歯学総合研究科 摂食嚥下リハビリテーション学分野、
²⁾一正蒲鉾株式会社 技術研究部技術研究課

優秀ポスター

一般部門

現地開催 6月11日(土) 15:00-16:00 2F コンサートホールホワイトエ

優秀P一般-1 介護老人福祉施設入所者の肺炎発症にOral Assessment Guidelは説明変数になりうるか。

○山口 摂崇¹⁾、村松 真澄²⁾、山中 大寛¹⁾、武田 佳大¹⁾、越智 守生¹⁾

¹⁾北海道医療大学歯学部 口腔機能修復・再建学系 クラウンブリッジ・インプラント補綴学分野、

²⁾札幌市立大学 看護学部

優秀P一般-2 改良された口腔湿潤計の多施設共同研究による検者内信頼性の検討

○高野 智史¹⁾、石田 晃裕¹⁾、中根 綾子²⁾、戸原 玄²⁾、渡邊 裕³⁾、山崎 裕³⁾、金澤 学⁴⁾、水口 俊介⁵⁾、上田 貴之¹⁾

¹⁾東京歯科大学 老年歯科補綴学講座、

²⁾東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 摂食・嚥下リハビリテーション学分野、

³⁾北海道大学大学院歯学研究院 口腔健康科学分野 高齢者歯科学教室、

⁴⁾東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 医歯理工保健学専攻 口腔デジタルプロセス学分野、

⁵⁾東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 高齢者歯科学分野

優秀P一般-3 脳卒中急性期から回復期にかけての継続的歯科介入による口腔環境の変化

—OHAT-Jを用いた検討—

○坂井 鮎^{1,2)}、関本 愉^{3,4,5)}、松尾 浩一郎⁵⁾

¹⁾藤田医科大学病院 歯科・口腔外科、²⁾新潟大学大学院医歯学総合研究科 口腔生命福祉学専攻、

³⁾医療法人宝生会 PL病院 歯科、⁴⁾藤田医科大学医学部 歯科・口腔外科学講座、

⁵⁾東京医科歯科大学大学院地域・福祉口腔機能管理学分野

優秀P一般-4 COVID-19感染拡大下での介護保険施設入所高齢者に対する口腔健康管理と食形態との関連

○稲本 香織¹⁾、阿部 貴恵¹⁾、渡邊 裕^{1,2)}、山崎 裕¹⁾、小原 由紀²⁾、岩崎 正則²⁾、平野 浩彦²⁾、恒石 美登里³⁾、小玉 剛⁴⁾、吉田 光由⁵⁾、水口 俊介⁶⁾

¹⁾北海道大学大学院歯学研究院 口腔健康科学分野 高齢者歯科学教室、

²⁾東京都健康長寿医療センター 研究所、³⁾日本歯科総合研究機構、⁴⁾日本歯科医師会、

⁵⁾藤田医科大学歯科口腔外科学講座、⁶⁾東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 高齢者歯科学分野

優秀P一般-5 在宅療養高齢者における歯科訪問診療継続可否の予測因子の検討

○田中 公美^{1,2)}、菊谷 武^{1,3)}、高橋 賢晃^{1,2)}、佐藤 志穂¹⁾、市川 陽子^{1,2)}、田中 祐子¹⁾、富田 浩子¹⁾、田村 文誉^{1,2)}

¹⁾日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック、²⁾日本歯科大学附属病院口腔リハビリテーション科、

³⁾日本歯科大学大学院生命歯学研究院 臨床口腔機能学

地域歯科医療部門

現地開催 6月11日(土) 15:00-16:00 2F コンサートホールホワイトエ

優秀P地域-1 歯科的主訴の無い患者における口腔機能低下とサルコペニアの関連：横断研究

○白波瀬 龍一^{1,2)}、渡邊 裕²⁾、斎藤 徹¹⁾、砂川 裕亮^{1,2)}、松下 祐也^{1,2)}、山崎 裕²⁾

¹⁾医療法人社団秀和会つがやす歯科医院、

²⁾北海道大学大学院歯学研究院 口腔健康科学分野 高齢者歯科学教室

優秀P地域-2 東京都内某区で実施した後期高齢者歯科健診から見えてきたもの

○鈴木 治仁²⁾、小野寺 哲夫³⁾、右田 大三彦²⁾、古川 潤一郎³⁾、和栗 範幸²⁾、河森 一賢³⁾、鈴木 淳²⁾、大木 研一³⁾、福内 恵子⁴⁾、河上 清香⁵⁾、飯島 勝矢⁶⁾、菊谷 武¹⁾

¹⁾日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック、²⁾品川区荏原歯科医師会、³⁾品川区品川歯科医師会、

⁴⁾品川区健康推進部、⁵⁾品川区保健所品川保健センター、

⁶⁾東京大学 高齢社会総合研究機構・未来ビジョン研究センター

優秀P地域-3 後期高齢者における咀嚼能力と栄養状態の関係に調理の実践が与える影響について
 ○富永 一道¹⁾、齋藤 寿章²⁾、井上 幸夫²⁾、西 一也¹⁾、清水 潤¹⁾
¹⁾一般社団法人島根県歯科医師会地域福祉部委員会(委員長 清水潤)、²⁾一般社団法人島根県歯科医師会

優秀P地域-4 口腔機能向上訓練方法として歯磨き前の含嗽は有効か？ -効果的な含嗽方法の検討-
 ○朝田 和夫¹⁾、遠藤 眞美²⁾、呉 明憲¹⁾、朝田 真理¹⁾、竹川 ひとみ¹⁾、長野 雅一¹⁾、
 野本 たかと²⁾
¹⁾あさだ歯科口腔クリニック、²⁾日本大学松戸歯学部障害者歯科学講座

優秀P地域-5 リハビリテーション病院と地域歯科診療所との連携システム構築と実態
 ○野本 亜希子^{1,2)}、才川 隆弘³⁾、橋詰 桃代⁴⁾、波多野 真智子⁴⁾、大野 友久^{1,2)}
¹⁾浜松市リハビリテーション病院 歯科、
²⁾東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 医歯学専攻 老化制御学講座 摂食嚥下リハビリテーション学分野、
³⁾浜松市歯科医師会、⁴⁾浜松市リハビリテーション病院 リハビリテーション部

歯科衛生士部門

現地開催 6月11日(土) 15:00-16:00 2F コンサートホールホワイエ

優秀P衛生-1 患者のモチベーション向上を中心とした歯科衛生士のアプローチが口腔機能管理の継続につながった症例

○飯干 由菜¹⁾、竜 正大²⁾、山下 秀一郎³⁾、上田 貴之²⁾
¹⁾東京歯科大学水道橋病院歯科衛生士部、²⁾東京歯科大学 老年歯科補綴学講座、
³⁾東京歯科大学 パーシャルデンチャー補綴学講座

優秀P衛生-2 高齢舌癌患者の周術期口腔機能管理にがん患者の口腔保健に関わる自己効力感尺度(OSEC)を活用した一例

○田中 紘子¹⁾、安藤 睦美¹⁾、蟹江 仁美¹⁾、黒田 茉奈²⁾、龍田 泉希²⁾、関本 愉³⁾、岡本 美英子²⁾、
 金森 大輔⁴⁾、吉田 光由²⁾
¹⁾藤田医科大学病院 歯科口腔外科、²⁾藤田医科大学 医学部 歯科・口腔外科学講座、
³⁾医療法人宝生会 PL病院 歯科、⁴⁾藤田医科大学 医学部 七栗記念病院 歯科

優秀P衛生-3 ICTを活用した地域の医療・介護連携における歯科訪問診療の経験

○馬場 めぐみ¹⁾、室田 弘二¹⁾、橋本 みゆき²⁾、長尾 由美子³⁾、松原 利江子¹⁾、類家 春菜¹⁾、
 先川 信³⁾、寺尾 導子²⁾
¹⁾医療法人臨生会 名寄歯科医院、²⁾医療法人臨生会 吉田歯科分院、
³⁾医療法人臨生会 吉田病院歯科口腔外科

優秀P衛生-4 歯科衛生士の病棟ラウンドにより、造血幹細胞移植を受ける高齢患者の口腔健康管理を早期から開始できた症例

○高澤 理奈、原田 枝里、服部 馨、久野 彰子
 日本医科大学付属病院 口腔科

優秀P衛生-5 急性期病院から在宅診療へのシームレスな介入 ～歯科衛生士による連携～

○木村 菜摘¹⁾、谷口 裕重²⁾、井筒 梢会³⁾、大塚 あつ子²⁾、中尾 幸恵^{2,3)}、中澤 悠里^{2,3)}、
 近石 壮登^{2,3)}、近石 登喜雄⁴⁾
¹⁾朝日大学病院 歯科衛生部、²⁾朝日大学歯学部 摂食嚥下リハビリテーション学分野、
³⁾医療法人社団登豊会近石病院 歯科・口腔外科、⁴⁾医療法人社団登豊会近石病院 外科

介護・介護予防

オンデマンド

- P1-1 **在宅療養者の口腔状態はキーパーソンの介護負担感に関連するのか：
混合研究法を用いた検討**
○岸 さやか^{1,2)}、小宮山 貴将¹⁾、岡橋 美奈子²⁾、阿部 吏芳²⁾、板橋 志保^{2,3)}、遠藤 千恵^{2,3)}、
成田 憲司^{2,3)}、小菅 玲³⁾、服部 佳功¹⁾
¹⁾東北大学大学院歯学研究科 加齢歯科学分野、
²⁾一般社団法人 仙台歯科医師会 在宅訪問・障害者・休日夜間歯科診療所、
³⁾一般社団法人 仙台歯科医師会
- P1-2 **歯科訪問診療患者における低栄養と関連する口腔保健指標の検討**
○福山 完^{1,2)}、小宮山 貴将¹⁾、服部 佳功¹⁾
¹⁾東北大学大学院歯学研究科 加齢歯科学分野、²⁾医療法人祥義会 福島訪問歯科医院
- P1-3 **口腔機能低下有訴者の特徴および運動実践と抑うつとの関連**
○西村 生
筑波大学大学院人間総合科学学術院 人間総合科学研究群体育学学位プログラム
- P1-4 **認知症患者への歯科対応の啓発活動の意識調査**
○岡田 尚則、大河 貴久、水野 昭彦、奥野 博喜
京都府歯科医師会
- P1-5 **新型コロナウイルス感染症拡大が高齢者施設職員の感染対策意識や口腔ケア業務に与えた
影響**
○日高 玲奈、田坂 樹、松尾 浩一郎
東京医科歯科大学大学院地域・福祉口腔機能管理学分野

口腔機能

オンデマンド

- P2-1 **口腔機能低下症の4種下位症状における主検査と代替検査の比較**
○西 恭宏¹⁾、山下 裕輔¹⁾、村上 格²⁾、原田 佳枝¹⁾、益崎 与泰¹⁾、池田 菜緒¹⁾、中村 康典³⁾、
西村 正宏¹⁾
¹⁾鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 口腔顎顔面補綴学分野、
²⁾鹿児島大学病院成人系歯科センター義歯補綴科、³⁾独立行政法人 国立病院機構 鹿児島医療センター
- P2-2 **静電容量型感圧センサシートを用いた新たな咬合力測定装置の併存的妥当性の検討：
お達者健診研究**
○岩崎 正則¹⁾、小原 由紀¹⁾、本川 佳子¹⁾、枝広 あや子¹⁾、白部 麻樹¹⁾、渡邊 裕^{1,2)}、
大淵 修一¹⁾、平野 浩彦¹⁾
¹⁾東京都健康長寿医療センター研究所、
²⁾北海道大学大学院歯学研究科 口腔健康科学分野 高齢者歯科学教室
- P2-3 **開口速度計の開発**
○奥村 拓真、中根 綾子、中川 量晴、森豊 理英子、柳田 陵介、内田 有俊、吉見 佳那子、
山口 浩平、戸原 玄
東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 歯科学専攻 老化制御学講座 摂食嚥下リハビリテーション学分野

- P2-4 **超音波診断装置を用いた神経電気刺激による顎二腹筋前腹の形状および硬さの評価**
 ○府馬 亮介¹⁾、大久保 真衣¹⁾、三浦 慶奈¹⁾、杉山 哲也²⁾、石田 瞭¹⁾
¹⁾東京歯科大学 水道橋病院 摂食嚥下リハビリテーション研究室、
²⁾東京歯科大学 千葉歯科医療センター総合診療科/摂食嚥下リハビリテーション科
- P2-5 **不安定な座位姿勢の保持と口腔の運動が咀嚼運動に及ぼす影響 – 健常者における検討 –**
 ○森下 元賀¹⁾、西川 弘太郎²⁾
¹⁾吉備国際大学保健医療福祉学部理学療法学科、²⁾津山工業高等専門学校総合理工学科機械システム系
- P2-6 **成人期における口腔機能発達不全の実態調査**
 ○山田 裕之^{1,2)}、田村 文誉^{1,2)}、駒形 悠佳^{1,2)}、保母 妃美子^{1,2)}、新藤 広基¹⁾、佐藤 志穂^{1,2)}、
 平林 正裕⁴⁾、花形 哲夫⁵⁾、菊谷 武^{1,2,3)}
¹⁾日本歯科大学附属病院口腔リハビリテーション科、
²⁾日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック、
³⁾日本歯科大学大学院生命歯学研究科 臨床口腔機能学、⁴⁾平林歯科医院、⁵⁾花形歯科医院
- P2-7 **後期高齢者の食事満足度に影響を及ぼす口腔関連要因について
 – 島根県後期高齢者歯科口腔健康診査解析から –**
 ○齋藤 寿章¹⁾、富永 一道²⁾、井上 幸夫¹⁾、西 一也²⁾、清水 潤²⁾
¹⁾一般社団法人島根県歯科医師会、²⁾一般社団法人島根県歯科医師会地域福祉部委員会(委員長:清水 潤)
- P2-8 **通所介護サービス利用者における低栄養リスクに関連する要因の検討**
 ○小原 由紀¹⁾、岩崎 正則¹⁾、白部 麻樹¹⁾、岩佐 康行²⁾、森下 志穂^{1,3)}、恒石 美登里⁴⁾、
 小玉 剛⁵⁾、平野 浩彦¹⁾、渡邊 裕^{1,6)}、吉田 光由⁷⁾、水口 俊介⁸⁾
¹⁾東京都健康長寿医療センター研究所、²⁾原土井病院 歯科、³⁾明海大学 保健医療学部口腔保健学科、
⁴⁾日本歯科総合研究機構、⁵⁾日本歯科医師会、
⁶⁾北海道大学大学院歯学研究院 口腔健康科学分野 高齢者歯科学教室、
⁷⁾藤田医科大学 歯科口腔外科学講座、⁸⁾東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 高齢者歯科学分野
- P2-9 **臼歯咬合支持を喪失したまま義歯を使用せず経口摂取している高齢者に関する調査**
 ○森豊 理英子、中川 量晴、山口 浩平、石井 美紀、吉見 佳那子、中根 綾子、内田 有俊、
 戸原 玄
 東京医科歯科大学摂食嚥下リハビリテーション学分野
- P2-10 **脳卒中回復期における摂食嚥下障害のリスク因子となる口腔機能障害**
 ○関本 愉^{1,2)}、坂井 鮎^{3,4)}、松尾 浩一郎⁵⁾
¹⁾医療法人宝生会 PL病院 歯科、²⁾藤田医科大学医学部 歯科・口腔外科学講座、
³⁾藤田医科大学病院 歯科・口腔外科、⁴⁾新潟大学大学院医歯学総合研究科 口腔生命福祉学専攻、
⁵⁾東京医科歯科大学大学院 地域・福祉口腔機能管理学分野
- P2-11 **口腔機能低下症患者に対する半年間の口腔機能管理の実施効果**
 ○堀部 耕広、堀 綾夏、柳澤 光一郎、竜 正大、上田 貴之
 東京歯科大学老年歯科補綴学講座
- P2-12 **2施設における口腔機能低下症の検査と管理状況の実態調査**
 ○山下 裕輔¹⁾、西 恭宏¹⁾、村上 格²⁾、山下 皓三³⁾、原田 佳枝¹⁾、益崎 与泰¹⁾、堀之内 玲耶¹⁾、
 池田 菜緒¹⁾、櫻井 智章¹⁾、宮田 春香¹⁾、西村 正宏¹⁾
¹⁾鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 口腔顎顔面補綴学分野、
²⁾鹿児島大学病院 成人系歯科センター 義歯インプラント科、³⁾鹿児島市 山下歯科

- P2-13 **口腔乾燥症患者の口腔機能に関する主観的評価 – 自己チェックリストによる検討–**
 ○水橋 史¹⁾、渡會 侑子¹⁾、戸谷 収二²⁾、中谷 佑哉²⁾
¹⁾日本歯科大学新潟生命歯学部歯科補綴学第1講座、²⁾日本歯科大学新潟病院口腔外科・口のかわき治療外来
- P2-14 **新規開発されたジェルタイプの義歯安定剤による口腔乾燥やカンジダに対する効果**
 ○岡田 和隆、馬場 陽久、平良 賢周、武田 雅彩、木村 千鶴、渡邊 裕、山崎 裕
 北海道大学大学院歯学研究院 口腔健康科学分野 高齢者歯科学教室

連携医療・地域医療

オンデマンド

- P3-1 **回復期リハビリテーション病棟における歯科との連携状況 – 自記式質問票による全国調査–**
 ○田坂 樹¹⁾、日高 玲奈¹⁾、岩佐 康行²⁾、古屋 純一³⁾、大野 友久⁴⁾、貴島 真佐子⁵⁾、金森 大輔⁶⁾、寺中 智⁷⁾、松尾 浩一郎¹⁾
¹⁾東京医科歯科大学大学院 地域・福祉口腔機能管理学、²⁾原土井病院歯科/摂食・栄養支援部、
³⁾昭和大学歯学部 高齢者歯科学講座、⁴⁾浜松市リハビリテーション病院歯科、
⁵⁾わかくさ竜間リハビリテーション病院歯科、⁶⁾藤田医科大学医学部 七栗記念病院歯科、
⁷⁾足利赤十字病院 口腔治療室
- P3-2 **地域要介護高齢者歯科診療所における超高齢患者の検討**
 ○間宮 秀樹、堀本 進、秋本 覚、小林 利也、和田 光利、片山 正昭
 藤沢市歯科医師会
- P3-3 **急性期病院における周術期口腔機能管理を地域歯科医師会の口腔衛生センターと連携した一例**
 ○高橋 賢晃¹⁾、西村 三美²⁾、田村 昌三³⁾、山田 幸¹⁾、仲澤 裕次郎¹⁾、駒形 悠佳¹⁾、伊藤 瑞希¹⁾、菊谷 武^{1,4)}
¹⁾日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック、²⁾東邦大学医療センター大橋病院、
³⁾世田谷区口腔衛生センター歯科診療所、⁴⁾日本歯科大学大学院生命歯学研究科 臨床口腔機能学
- P3-4 **在宅療養患者に対するオンライン栄養指導の有用性に関する調査**
 ○白野 美和¹⁾、吉岡 裕雄¹⁾、渥美 陽二郎¹⁾、両角 祐子²⁾、赤泊 圭太¹⁾
¹⁾日本歯科大学新潟病院訪問歯科口腔ケア科、²⁾日本歯科大学新潟生命歯学部歯周病学講座
- P3-5 **有病者に対する口腔健康管理を主とする病院歯科と歯科医師会との連携に関する活動報告**
 ○尾崎 研一郎^{1,2)}、寺中 智^{1,3)}、河合 陽介^{1,2)}、堀越 悦代¹⁾、戸原 玄²⁾、水口 俊介³⁾
¹⁾足利赤十字病院 リハビリテーション科、
²⁾東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 摂食嚥下リハビリテーション学分野、
³⁾東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 高齢者歯科学分野
- P3-6 **地域におけるミールラウンドを普及させるための取り組み**
 ○佐川 敬一郎^{1,2)}
¹⁾佐川歯科医院、²⁾一般社団法人鹿沼歯科医師会

実態調査

オンデマンド

- P4-1 **歯科標榜のない急性期病院におけるシームレスな病診連携を確立するための取組み**
 ○伊藤 瑞希¹⁾、高橋 賢晃¹⁾、西村 三美²⁾、山田 幸¹⁾、仲澤 裕次郎¹⁾、駒形 悠佳¹⁾、田村 文誉¹⁾、菊谷 武^{1,3)}
¹⁾日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック、²⁾東邦大学医療センター大橋病院、
³⁾日本歯科大学大学院生命歯学研究科 臨床口腔機能学

- P4-2 **歯科標榜の無い地域中核病院の入院患者における歯科治療の需要について**
 ○村田 尚道^{1,2)}、樋山 めぐみ¹⁾、江草 正彦²⁾、岡本 佳明¹⁾
¹⁾医療法人社団湧泉会 ひまわり歯科、²⁾岡山大学病院 スペシャルニーズ歯科センター
- P4-3 **医科歯科総合病院における連携プロトコル再構築後の1年間の取り組み**
 ○杉本 清楓¹⁾、縄田 和歌子¹⁾、中島 正人²⁾、福田 安理^{2,3)}、森田 浩光²⁾、牧野 路子²⁾
¹⁾福岡歯科大学医科歯科総合病院 歯科衛生士部、²⁾福岡歯科大学総合歯科学講座 訪問歯科センター、
³⁾社会医療法人天神会新古賀病院 歯科
- P4-4 **当院における歯科訪問診療依頼の実態**
 ○稲葉 華奈子、谷口 礼奈、中西 真由美
 医療法人社団あさがお会あさがお歯科
- P4-5 **レセプトデータを用いた抜歯後出血の分析 -LIFE Study-**
 ○中村 純也^{1,2)}、芝辻 豪士¹⁾、高橋 潤平¹⁾、西尾 英莉¹⁾、足立 了平¹⁾、福田 治久³⁾
¹⁾医療法人社団関田会 ときわ病院 歯科口腔外科、²⁾神戸大学大学院保健学研究科 パブリックヘルス領域、
³⁾九州大学大学院医学研究院 医療経営・管理学講座
- P4-6 **一介護医療院における口腔内薬剤耐性菌の保菌調査**
 ○竹内 真帆¹⁾、春田 梓¹⁾、吉川 峰加¹⁾、平岡 綾¹⁾、森 隆浩¹⁾、丸山 真理子¹⁾、竹田 智帆¹⁾、
 高橋 優太郎¹⁾、上田 裕次²⁾、吉田 光由³⁾、津賀 一弘¹⁾
¹⁾広島大学大学院医系科学研究科 先端歯科補綴学、²⁾イースト歯科クリニック、
³⁾藤田医科大学歯科口腔外科学講座
- P4-7 **地域在住自立高齢者における口腔関連QOLと抑うつとの相関**
 ○豊下 祥史¹⁾、佐々木 みづほ¹⁾、菅 悠希¹⁾、川西 克弥¹⁾、原 修一²⁾、三浦 宏子³⁾、越野 寿¹⁾
¹⁾北海道医療大学歯学部 口腔機能修復・再建学系 咬合再建補綴学分野、
²⁾九州保健福祉大学保健科学部 言語聴覚療法学科、
³⁾北海道医療大学歯学部 口腔構造・機能発育学系 保健衛生学分野
- P4-8 **超高齢者の口腔健康と幸福感との関連の検討**
 ○能勢 彩花、八田 昂大、高橋 利士、豆野 智昭、福武 元良、西村 優一、室谷 有紀、萩野 弘将、
 辻岡 義崇、明間 すずな、三原 佑介、和田 誠大、前田 芳信、池邊 一典
 大阪大学大学院歯学研究科 顎口腔機能再建学講座 有床義歯補綴学・高齢者歯科学分野
- P4-9 **アルツハイマー型認知症の嗅覚・味覚機能と体格と関連についての報告**
 ○金子 信子^{1,2)}、野原 幹司³⁾、有川 英里³⁾、山口 高秀²⁾、光山 誠⁴⁾、阪井 丘芳³⁾
¹⁾学校法人平成医療学園なにわ歯科衛生専門学校、²⁾医療法人おひさま会 おひさまクリニック、
³⁾大阪大学大学院歯学研究科 高次脳口腔機能学講座 顎口腔機能治療学教室、⁴⁾医療法人敬英会
- P4-10 **超高齢者における残存歯数・低栄養と3年後生存率の関連性**
 ○西尾 健介^{1,2)}、柳澤 直毅^{1,2)}、高橋 佑和^{1,2)}、岡田 真治^{1,2)}、深澤 麻衣^{1,2)}、浦田 健太郎^{1,2)}、
 李 淳^{1,2)}、伊藤 智加^{1,2)}、高津 匡樹^{1,2)}、飯沼 利光^{1,2)}
¹⁾日本大学歯学部歯科補綴学第Ⅰ講座、²⁾日本大学歯学部附属歯科病院 総義歯補綴科
- P4-11 **特別養護老人ホーム入所者における食事の自立に関する要因の検討**
 ○鈴木 史彦、北條 健太郎、渡邊 聡、渡部 議之、鈴木 海路
 奥羽大学歯学部附属病院地域医療支援歯科

- P4-12 **当県歯科医師の認知症患者の受診対応について**
 - 「歯科医師認知症対応力向上研修会」アンケート結果よりー
 ○日置 章博、山中 佑介、宮本 佳宏、森田 知臣、上野 智史、靱山 正敬、南 全、朝比奈 義明、
 武藤 直広、鈴木 雄一郎、富田 健嗣、森 幹太、渡邊 俊之、内堀 典保
 愛知県歯科医師会
- P4-13 **松本歯科大学病院における有床義歯咀嚼機能検査の実施状況**
 ○富士 岳志、望月 慎恭、配島 弘之
 松本歯科大学地域連携歯科学講座
- P4-14 **当院における歯科訪問診療の実態調査と新型コロナウイルス感染症の影響**
 ○煙山 修平¹⁾、尾立 光¹⁾、末永 智美^{2,3)}、金本 路²⁾、三重野 花菜¹⁾、吉野 夕香⁴⁾、川上 智史^{1,5)}、
 會田 英紀¹⁾
¹⁾北海道医療大学歯学部 高齢者・有病者歯科学分野、²⁾北海道医療大学病院在宅歯科診療所、
³⁾北海道医療大学病院歯科衛生部、⁴⁾北海道医療大学病院地域連携室、
⁵⁾北海道医療大学歯学部 高度先進保存学分野
- P4-15 **多摩北部医療センター歯科口腔外科における若年層・中年層と高齢者の下顎智歯抜歯の検討**
 ○秀島 能¹⁾、森田 奈那^{1,2)}、新 雄太¹⁾、大矢 珠美¹⁾、潮田 高志¹⁾
¹⁾多摩北部医療センター歯科口腔外科、²⁾東京歯科大学オーラルメディシン・病院歯科学講座
- P4-16 **精神科病院における歯科衛生士の役割と重要性**
 ○西澤 光弘^{1,2)}、荒木 俊樹^{1,3)}
¹⁾医療法人群栄会田中病院 歯科、²⁾山王歯科、³⁾荒木歯科医院

加齢変化・基礎研究

オンデマンド

- P5-1 **強制的な血管新生抑制が抜歯窩硬軟組織治癒に与える影響の検索**
 ○黒嶋 伸一郎¹⁾、小堤 涼平¹⁾、佐々木 宗輝¹⁾、村田 比呂司²⁾
¹⁾長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 口腔インプラント学分野、
²⁾長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 歯科補綴学分野
- P5-2 **マクロファージの強制的枯渇がBRONJ様病変の硬軟組織治癒に与える影響の検索**
 ○小堤 涼平、佐々木 宗輝、黒嶋 伸一郎
 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 口腔インプラント学分野
- P5-3 **なぜ口腔細菌は誤嚥性肺炎の原因となるのか？**
 - Pg菌の短線毛による呼吸器細胞からのサイトカイン誘導 -
 ○高橋 佑和^{1,2)}、今井 健一²⁾、飯沼 利光¹⁾
¹⁾日本大学歯学部 歯科補綴学第Ⅰ講座、²⁾日本大学歯学部 感染症免疫学講座
- P5-4 **加齢によるTRPV1およびTRPV2発現の変化が口腔粘膜の疼痛感受性に及ぼす影響**
 ○浦田 健太郎、大音 樹、西尾 健介、李 淳、高津 匡樹、飯沼 利光
 日本大学歯学部歯科補綴学第Ⅰ講座
- P5-5 **高齢マウスに対する老化細胞除去薬の効果**
 ○小山 尚人^{1,2)}、加藤 慎也¹⁾、田井 康寛^{1,2)}、中村 卓²⁾、出分 菜々衣²⁾、尾崎 友輝²⁾、
 吉成 伸夫^{1,2)}
¹⁾松本歯科大学大学院歯学独立研究科 健康増進口腔科学講座、²⁾松本歯科大学歯科保存学講座(歯周)

- P5-6 **Oral and intestinal bacterial flora in centenarians and octogenarians with low functional independence in nursing homes**
 ○Ma Xiangtao¹⁾、Ikeda Takefumi^{1,2)}、Asahina Hironao³⁾、Ogasawara Tadashi⁴⁾、Yoshinari Nobuo¹⁾
¹⁾Department of Operative Dentistry, Endodontology and Periodontology, School of Dentistry, Matsumoto Dental University, Shiojiri, Japan,
²⁾Ikeda dental clinic,
³⁾Department of Special Needs Dentistry, School of Dentistry, Matsumoto Dental University, Shiojiri, Japan,
⁴⁾Department Oral Health Promotion, Graduate School of Oral Medicine, Matsumoto Dental University, Shiojiri, Japan

- P5-7 **口腔粘膜病モデルを用いたヒアルロン酸シートの口腔粘膜病治療効果の検討**
 ○鈴木 慶、中野 旬之、小越 菜保子、中島 世市郎、植野 高章
 大阪医科大学口腔外科学教室

- P5-8 **前向きコホート研究による根面う蝕の有病および罹患状況とリスクファクター**
 ○杉原 直樹¹⁾、鈴木 誠太郎¹⁾、今井 光枝¹⁾、江口 貴子²⁾、上條 英之³⁾
¹⁾東京歯科大学衛生学講座、²⁾東京歯科大学短期大学歯科衛生学科、³⁾東京歯科大学歯科社会保障学

全身管理・全身疾患

オンデマンド

- P6-1 **加齢が頸椎疾患の後方アプローチ術後の嚥下機能にどのように影響するか**
 ○吉澤 彰、中川 量晴、吉見 佳那子、有瀧 航太、玉井 斗萌、長澤 祐季、山口 浩平、中根 綾子、戸原 玄
 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 老化制御学講座 摂食嚥下リハビリテーション学分野
- P6-2 **高齢頸椎疾患患者の術前後における嚥下機能の変化 —咀嚼嚥下時の運動学的解析—**
 ○有瀧 航太、中川 量晴、吉澤 彰、齋木 章乃、柳田 陵介、吉見 佳那子、山口 浩平、中根 綾子、戸原 玄
 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 摂食嚥下リハビリテーション学分野
- P6-3 **フルデジタルワークフローによる止血シーネの製作**
 ○猪越 正直、副田 弓夏、秋山 洋、上田 圭織、久保田 一政、水口 俊介
 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 高齢者歯科学分野
- P6-4 **X線写真上の抜歯該当歯の歯頸部の長さが抗凝固薬服用患者の抜歯後出血に与える影響**
 ○上田 圭織¹⁾、久保田 一政¹⁾、猪越 正直¹⁾、守澤 正幸²⁾、水口 俊介¹⁾
¹⁾東京医科歯科大学高齢者歯科学分野、²⁾千葉県
- P6-5 **抗凝固薬内服中の高齢者における抜歯後出血リスク因子の検討**
 ○森 美由紀¹⁾、河合 絢¹⁾、清水 梓¹⁾、齊藤 美香¹⁾、大鶴 洋^{1,2)}、平野 浩彦¹⁾
¹⁾東京都健康長寿医療センター歯科口腔外科、²⁾東京都

教育

オンデマンド

- P7-1 **老人介護施設における要介護高齢者や介護職員と歯学部生を電子的に繋いだPBL演習の取組**
 ○縄稚 久美子¹⁾、前田 あずさ¹⁾、兒玉 直紀²⁾、萬田 陽介²⁾、窪木 拓男¹⁾
¹⁾岡山大学学術研究院・医歯薬学域、インプラント再生補綴学分野、
²⁾岡山大学学術研究院・医歯薬学域、咬合・有床義歯補綴学分野

- P7-2 **高齢者・在宅歯科医療学臨床実習のPBLにおけるテキストマイニングによる振り返り学習の取り組み**
 ○宇佐美 博志、村上 弘、竹内 一夫、水野 辰哉、宮前 真、高濱 豊、加藤 大輔、上野 温子、山口 大輔、瀧井 泉美、宮本 佳宏、木本 統
 愛知学院大学歯学部 高齢者・在宅歯科医療学講座

症例・施設

オンデマンド

- P8-1 **骨吸収抑制薬関連顎骨壊死の高リスク患者に対し侵襲的歯科治療を実施した2症例**
 ○板木 咲子¹⁾、金久 弥生²⁾、山脇 加奈子¹⁾、田地 豪³⁾、吉川 峰加⁴⁾
¹⁾医療法人ピーアイエー、²⁾明海大学保健医療学部口腔保健学科、
³⁾広島大学大学院医系科学研究科 口腔生物工学研究室、
⁴⁾広島大学大学院医系科学研究科 先端歯科補綴学研究室
- P8-2 **オーラルアプライアンスを用いた咬傷防止の2症例**
 ○石塚 結、進藤 愛、安達 真弓、池田 聡子
 医療生協やまがた 鶴岡協立病院
- P8-3 **入院中から在宅にかけて口腔健康管理を継続し食支援を行った症例**
 ○玉本 かおる¹⁾、米田 博行¹⁾、三原 佑介¹⁾、三輪 俊太²⁾、石田 健¹⁾
¹⁾JAみなみ信州歯科診療所、²⁾岐阜県 三輪歯科医院
- P8-4 **Down症候群患者のう蝕・歯周病予防における口腔管理について
 -2症例の歯科との関わりにおける検討-**
 ○横山 滉介¹⁾、萩原 大²⁾、鎌田 有一朗²⁾、原 豪志²⁾、高野 知子²⁾、李 昌一³⁾、小松 知子²⁾
¹⁾神奈川歯科大学歯科診療支援学講座歯科メンテナンス学分野、
²⁾神奈川歯科大学全身管理歯科学講座障害者歯科学分野、³⁾神奈川歯科大学健康科学講座災害歯科学分野
- P8-5 **脳出血後遺障害を有する患者への長期にわたる歯科衛生士の取り組み**
 ○池田 由香、鶴巻 浩
 社会医療法人仁愛会 新潟中央病院 歯科口腔外科
- P8-6 **夫婦間介護の中、難渋した歯科介入の後、異なる転機に至った在宅療養中の要介護高齢者2症例の検討**
 ○西尾 英莉、中村 純也、芝辻 豪士、足立 了平
 医療法人社団関田会ときわ病院 歯科口腔外科
- P8-7 **口腔内装置型代用発声装置の使用によりQOLが向上した喉頭全摘出術後の1症例**
 ○山田 大志、石井 美紀、山口 浩平、中川 量晴、水口 大樹、戸原 玄
 東京医科歯科大学摂食嚥下リハビリテーション学分野
- P8-8 **当会高齢者外来での歯科衛生士の取組み
 第5報 病院嫌いなオーラルフレイル患者への対応の1例**
 ○吉浜 由美子、若尾 美知代、日吉 美保、棚橋 亜企子、矢ヶ崎 和美、東澤 雪子、吉岡 亜希子、鈴木 裕美子、平野 昌保、菊地 幸信、野村 勝則、高橋 恭彦、小野 洋一、渡辺 真人、小林 利也、鈴木 聡行、秋本 覚、和田 光利、平山 勝徳、片山 正昭
 藤沢市歯科医師会

- P8-9 **当会高齢者外来での歯科衛生士の取組み**
第6報脳梗塞後遺症患者に舌圧検査を応用し口腔衛生改善を試みた症例
 ○若尾 美知代、吉浜 由美子、高橋 恭子、似鳥 純子、石田 彩、佐藤 園枝、日吉 美保、東澤 雪子、吉岡 亜希子、鈴木 裕美子、間宮 秀樹、堀本 進、秋元 宏恵、藪内 貴章、渡辺 真人、小林 利也、秋本 覚、和田 光利、平山 勝徳、片山 正昭
 藤沢市歯科医師会
- P8-10 **脳出血後遺症による左側麻痺の要介護患者に対し歯科訪問診療にて義歯を製作した症例**
 ○堤 康史郎¹⁾、柏崎 晴彦²⁾
¹⁾医療法人福和会 別府歯科医院、
²⁾九州大学大学院歯学研究院 口腔顎顔面病態学講座 高齢者歯科学・全身管理歯科学分野
- P8-11 **嚥下機能訓練に干渉波電気刺激療法を併用し、嚥下機能が回復した2症例**
 ○井藤 克美¹⁾、佐々木 力丸²⁾、金子 聖子³⁾、三邊 民紗¹⁾、滑川 初枝²⁾、山下 智嗣¹⁾
¹⁾アペックスメディカル・デンタルクリニック、²⁾日本歯科大学附属病院、³⁾東京医科歯科大学高齢者歯科
- P8-12 **舌の痛みおよび黒毛舌のある高齢者に漢方薬によるアプローチが有効であった症例**
 ○久保田 潤平、多田 葉子、唐木 純一
 九州歯科大学 老年障害者歯科学分野
- P8-13 **摂食嚥下機能障害患者に対し訪問診療で抜歯を行った症例**
 ○大久保 真衣¹⁾、杉山 哲也²⁾、柴原 孝彦³⁾、石田 瞭¹⁾
¹⁾東京歯科大学口腔健康科学講座摂食嚥下リハビリテーション研究室、
²⁾東京歯科大学千葉歯科医療センター総合診療科・摂食嚥下リハビリテーション科、
³⁾東京歯科大学千葉歯科医療センター口腔外科
- P8-14 **ビスホスホネート製剤中止後に顎骨壊死を発症し、下顎骨骨折を来した前立腺癌患者の症例**
 ○服部 馨、原田 枝里、高澤 理奈、久野 彰子
 日本医科大学付属病院 口腔科
- P8-15 **口腔機能低下症に該当しない嚥下障害患者の訓練的対応の一例**
 ○柳田 陵介、戸原 玄、中川 量晴、齋木 章乃、Amornsuradech Sirinthip、山口 浩平、吉見 佳那子、中根 綾子
 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 摂食嚥下リハビリテーション学分野
- P8-16 **介護老人保健施設Yにおける訪問診療開始後の1年間の取り組み**
 ○福田 安理^{1,2)}、中島 正人²⁾、森田 浩光²⁾、牧野 路子²⁾
¹⁾社会医療法人天神会新古賀病院歯科、²⁾福岡歯科大学総合歯科学講座 訪問歯科センター
- P8-17 **筋萎縮性側索硬化症(ALS)患者に光学印象、3Dプリンターでのマウスピース複製作成が有効だった一症例**
 ○坂口 豊^{1,2)}、稲毛 恵¹⁾、吉野 華苗¹⁾、鶴岡 秀一¹⁾、小島 佑貴¹⁾、井上 博之¹⁾
¹⁾坂口歯科医院、²⁾千葉市歯科医師会
- P8-18 **訪問歯科診療において口腔デジタルデータを利用し、多業種での情報共有が有効だった一症例**
 ○坂口 豊^{1,2)}、鶴岡 秀一¹⁾、稲毛 恵¹⁾、吉野 華苗¹⁾、井上 博之¹⁾、小島 佑貴¹⁾
¹⁾坂口歯科医院、²⁾千葉市歯科医師会

P8-19 **介護施設入所者における食事形態と認知機能および身体的特徴との関連性**
○中山 澁利、阿部 仁子、酒井 真悠、植田 耕一郎
日本大学歯学部摂食機能療法学講座

P8-20 **楽しみレベルの経口摂取を行っていた胃ろう者に対して地域連携が困難となった1例**
○行岡 正剛、前田 知馨代、棚橋 幹基、鎌田 春江、野田 恵未、岩瀬 陽子、安田 順一、
玄 景華
朝日大学歯学部障害者歯科

P8-21 **舌癌術後嚥下障害患者の長期治療経過報告**
○杉山 哲也¹⁾、大久保 真衣²⁾、石田 瞭²⁾
¹⁾東京歯科大学千葉歯科医療センター摂食嚥下リハビリテーション科、総合診療科、
²⁾東京歯科大学口腔健康科学講座摂食嚥下リハビリテーション研究室

その他

オンデマンド

P9-1 **当院における摂食嚥下サポートサークルの取り組み**
○坪井 千夏¹⁾、前川 賢治^{1,2)}、東 倫子^{1,3)}、内田 悠理香^{1,4)}、小林 直樹¹⁾
¹⁾特定医療法人 万成病院 歯科、²⁾岡山大学学術研究院医歯薬学域 インプラント再生補綴学分野、
³⁾岡山大学病院 スペシャルニーズ歯科センター、⁴⁾岡山大学病院 医療支援歯科治療部

P9-2 **歯科外来におけるフローチャートとオーダー票を用いた栄養相談の紹介**
○沼尾 佳奈¹⁾、塩澤 和子¹⁾、柁木 雄一¹⁾、樋口 咲希¹⁾、櫻井 薫¹⁾、川口 美喜子²⁾、
小林 健一郎¹⁾
¹⁾こばやし歯科クリニック(東京都)、²⁾大妻女子大学家政学部食物学科

P9-3 **薬剤性口腔乾燥症患者の特性および治療による自覚症状改善に関する検討**
○伊藤 加代子¹⁾、泉 直子²⁾、濃野 要³⁾、船山 さおり¹⁾、金子 昇⁴⁾、井上 誠^{1,5)}
¹⁾新潟大学医歯学総合病院 口腔リハビリテーション科、
²⁾ファイザー株式会社 インターナルメディスンメディカルアフェアーズ部、
³⁾新潟大学大学院医歯学総合研究科 口腔生命福祉学講座口腔保健学分野、
⁴⁾新潟大学大学院医歯学総合研究科 予防歯科学分野、
⁵⁾新潟大学大学院医歯学総合研究科 摂食嚥下リハビリテーション学分野

P9-4 **深層学習による画像認識技術を用いた舌苔付着度の評価**
○大川 純平¹⁾、堀 一浩¹⁾、泉野 裕美²⁾、福田 昌代³⁾、畑山 千賀子²⁾、小野 高裕¹⁾
¹⁾新潟大学医歯学総合研究科 包括歯科補綴学分野、²⁾梅花女子大学 看護保健学部 口腔保健学科、
³⁾神戸常盤大学短期大学部 口腔保健学科

P9-5 **口腔機能低下症と体組成との関連に関する臨床的研究**
○野澤 一郎太、藤原 基、堤 一輝、玉置 勝司
神奈川歯科大学大学院総合歯科学講座顎咬合機能回復分野

P9-6 **部分義歯の隣接歯清掃を効果的に行う新形状歯ブラシの評価**
○山根 麻姫子¹⁾、鈴木 秀典²⁾
¹⁾サンスター株式会社 研究開発統括部 基盤事業研究開発部、
²⁾一般財団法人サンスター財団附属千里歯科診療所

P9-7 **新規BioUnionガラス含有水硬性仮封材キャビトン ファストにおける耐摩耗性向上の検討**
○星野 智大、町田 大樹、伏島 歩登志
株式会社ジーシー

認定医審査ポスター

現地開催 6月10日(金) 15:15-16:45 2F スタジオAホワイト

- 認定P-1 **アルツハイマー型認知症の超高齢者に対して口腔健康管理を行いQOLが改善した1症例**
○名城 嗣磨¹⁾、平塚 正雄²⁾
¹⁾医療法人 堅勇会 たけしま歯科・小児歯科、²⁾医療法人 博仁会 福岡リハビリテーション病院
- 認定P-2 **肺癌診断後のADL低下により外来診療から歯科訪問診療に移行した症例**
○小宮山 貴将、服部 佳功
東北大学大学院 歯学研究科 リハビリテーション歯学講座加齢歯科学分野
- 認定P-3 **認知症、パーキンソン病、脳梗塞後遺症を有する高齢者の咀嚼障害に対して歯科訪問診療を行った症例**
○畑中 幸子、佐藤 裕二
昭和大学歯学部 高齢者歯科学講座
- 認定P-4 **アルツハイマー型認知症後期患者の口腔ケアと摂食嚥下指導**
○棚橋 幹基、玄 景華
朝日大学歯学部口腔病態医療学講座障害者歯科学分野
- 認定P-5 **脳梗塞後遺症があり口腔内悪化した症例に対する居宅往診での口腔ケアと口腔嚥下体操を継続的に実施した症例**
○今井 裕子、小向井 英記
医療法人 小向井歯科クリニック
- 認定P-6 **認知症高齢者に発生した褥瘡に対して、姿勢と栄養の改善、義歯製作、摂食機能療法を多職種にて行った症例**
○尾野 雄大、小金澤 一美
医療法人白櫻会小金沢歯科診療所
- 認定P-7 **脳卒中発症後、長期経過した高齢患者の摂食嚥下障害に対し、摂食嚥下リハビリテーションを行った1症例**
○尾田 友紀¹⁾、吉川 峰加²⁾
¹⁾広島大学病院障害者歯科、²⁾広島大学大学院医系科学研究科 先端歯科補綴学研究室
- 認定P-8 **高齢重症筋無力症患者の嚥下障害に対し、全身状態に応じて摂食機能訓練と食形態調整を行なった一例**
○芥川 礼奈、梅本 丈二
福岡大学病院
- 認定P-9 **パーキンソン病を有し、摂食嚥下障害のある高齢者に義歯治療と摂食機能療法を実施した1症例**
○本釜 聖子¹⁾、市川 哲雄²⁾
¹⁾愛媛大学医学部附属病院 歯科口腔外科・矯正歯科、
²⁾徳島大学大学院医歯薬学研究部 口腔顎顔面補綴学分野
- 認定P-10 **加齢症状と説明されていたが病的な筋力低下を示し封入体筋炎が疑われた嚥下障害患者の1例**
○安井 由紗佳^{1,2)}、野原 幹司²⁾
¹⁾医療法人 村内歯科医院、²⁾大阪大学歯学部附属病院 顎口腔機能治療部

- 認定P-11 **軟口蓋リンパ腫術後の患者に対し栓塞子により構音障害および摂食嚥下障害の改善を認めた1症例**
 ○昔農 淳平、植田 耕一郎
 日本大学歯学部摂食機能療法学講座
- 認定P-12 **中咽頭癌治療後による嚥下障害患者に対し嚥下リハビリテーションの教育入院を行い全量経口摂取に至った1例**
 ○野口 毅、高橋 浩二
 昭和大学歯科病院口腔リハビリテーション科
- 認定P-13 **高次脳機能障害を伴うパーキンソン症候群患者に対し管理栄養士と協働して摂食機能療法を行った一例**
 ○加藤 陽子¹⁾、菊谷 武^{1,2)}
¹⁾日本歯科大学大学院生命歯学研究科 臨床口腔機能学、
²⁾日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック
- 認定P-14 **脳血管疾患後の認知症高齢患者への介入により、経口摂取再開およびADL改善を認めた一例**
 ○市川 陽子^{1,2)}、菊谷 武^{2,3)}
¹⁾日本歯科大学口腔リハビリテーション科、²⁾日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック、
³⁾日本歯科大学大学院生命歯学研究科 臨床口腔機能学
- 認定P-15 **経口摂取困難な脳梗塞発症患者への嚥下評価と訓練により、嚥下機能及び覚醒度や全身状態が改善された症例**
 ○米田 早織、戸原 玄
 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 医歯学専攻 老化制御学講座 摂食嚥下リハビリテーション学分野
- 認定P-16 **訓練実施体制の構築により重度嚥下障害患者に対し安全な摂食嚥下リハビリテーションを行うことができた症例**
 ○長谷川 翔平、戸原 玄
 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 摂食嚥下リハビリテーション学分野
- 認定P-17 **COVID-19肺炎入院後廃用による嚥下障害患者に対し経口摂取支援を行った症例**
 ○石井 美紀、戸原 玄
 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 摂食嚥下リハビリテーション学分野
- 認定P-18 **扁桃癌放射線治療後の摂食嚥下障害**
 ○森豊 理英子、中根 綾子
 東京医科歯科大学摂食嚥下リハビリテーション学分野
- 認定P-19 **上顎癌切除術後の顎欠損を有する高齢者対し顎補綴を使用して機能回復をはかった症例**
 ○林 皓太、高橋 浩二
 昭和大学歯科病院口腔リハビリテーション科
- 認定P-20 **口腔衛生・機能管理を行うことで初めての義歯を装着することができた要介護超高齢者の一例**
 ○三浦 康寛¹⁾、野原 幹司²⁾
¹⁾なかにに歯科クリニック、²⁾大阪大学大学院歯学研究科 顎口腔機能治療学教室

- 認定P-21 **糖尿病・脳血管障害を有する下顎高度吸収顎堤に対し義歯製作を行い、咀嚼の改善から自立支援につなげた症例**
○益崎 与泰、西 恭宏
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 口腔顎顔面補綴学分野
- 認定P-22 **口腔癌に起因する開口障害に対して、口腔機能リハビリテーションを行い、新義歯を製作した症例**
○西尾 健介^{1,2)}、伊藤 智加^{1,2)}
¹⁾日本大学歯学部歯科補綴学第Ⅰ講座、²⁾日本大学歯学部附属歯科病院 総義歯補綴科
- 認定P-23 **高齢患者に対して新義歯製作および口腔機能に応じた指導により機能回復を図った一症例**
○岸本 卓大¹⁾、市川 哲雄²⁾
¹⁾徳島大学大学院医歯薬学研究部 歯科放射線学分野、
²⁾徳島大学大学院医歯薬学研究部 口腔顎顔面補綴学分野
- 認定P-24 **咀嚼・嚥下障害がある舌がん高齢患者に対し義歯を製作し口腔機能が改善した症例**
○大野 愛莉、戸原 玄
東京医科歯科大学摂食嚥下リハビリテーション学分野
- 認定P-25 **心疾患を有する歯科治療恐怖症患者に全顎的治療および周術期口腔管理を行った症例**
○奥 菜央理、柏崎 晴彦
九州大学大学院歯学研究院 口腔顎顔面病態学講座 高齢者歯科学・全身管理歯科学分野
- 認定P-26 **慢性心不全を有する余命半年の肺癌患者への歯科治療を行った症例**
○朝比奈 滉直、小笠原 正
松本歯科大学大学院健康増進口腔科学講座口腔健康政策学分野
- 認定P-27 **顎下腺摘出患者に対し口腔機能訓練を行い口腔機能に改善が認められた症例**
○原田 佳枝、西 恭宏
鹿児島大学 大学院医歯学総合研究科 口腔顎顔面補綴学分野
- 認定P-28 **脳梗塞を発症した高齢患者に対して、入院早期から口腔管理を実施した症例**
○松永 一幸¹⁾、古屋 純一²⁾
¹⁾脳神経センター大田記念病院 歯科、²⁾昭和大学歯学部 高齢者歯科学講座
- 認定P-29 **高齢患者の歯性上顎洞炎に対して歯周炎との鑑別が困難だった症例**
○玉井 恵子、内藤 徹
福岡歯科大学総合歯科学講座 高齢者歯科学分野
- 認定P-30 **口腔内出血を契機に特発性血小板減少性紫斑病と診断された高齢者の一例**
○小松 万純¹⁾、片倉 朗²⁾
¹⁾東京歯科大学 オーラルメディシン・病院歯科学講座、²⁾東京歯科大学 口腔病態外科学講座
- 認定P-31 **ブリッジ脱離・誤飲による摘出術を繰り返した重度認知症患者に対し、残存ブリッジ及び支台歯を抜去した症例**
○岡田 芳幸¹⁾、小笠原 正²⁾
¹⁾広島大学 医系科学研究科 障害者歯科学、²⁾松本歯科大学大学院 健康増進口腔科学講座
- 認定P-32 **脳血管障害患者の習慣性両側性顎関節脱臼に対する咬合再建によって改善した症例**
○高田 正典、江面 晃
日本歯科大学 在宅ケア新潟クリニック

- 認定P-33 **左被殻出血後遺症の患者の嚥下機能評価を行い、退院時にリハビリ継続のため地域医療連携を行った症例**
 ○宮原 琴美^{1,2)}、戸原 玄³⁾
¹⁾医療法人社団相明会 岩本歯科医院、²⁾一般社団法人巨樹の会 原宿リハビリテーション病院、
³⁾東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 摂食嚥下リハビリテーション学分野
- 認定P-34 **被殻出血後、歯科治療と摂食嚥下リハビリテーションの介入により、食形態の向上及び生活基盤が整った症例**
 ○小谷 朋子、戸原 玄
 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 摂食嚥下リハビリテーション学分野
- 認定P-35 **多職種連携により常食摂取が可能となった症例**
 ○高橋 育美¹⁾、菊谷 武^{2,3)}
¹⁾日本歯科大学附属病院口腔リハビリテーション科、²⁾日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック、
³⁾日本歯科大学大学院生命歯学研究科 臨床口腔機能学
- 認定P-36 **高血圧症を有する患者に対し抜歯を行い、義歯修理により早期の機能回復を図った症例**
 ○中嶋 千恵^{1,2,3)}、小向井 英記¹⁾
¹⁾小向井歯科クリニック、²⁾奈良県立医科大学口腔外科学講座、³⁾長尾歯科医院

摂食機能療法専門歯科医師審査ポスター

現地開催 6月10日(金) 17:00-18:00 2F コンサートホールホワイエ

- 摂食審査P-1 **全身麻酔による術後に来たした嚥下機能の低下に対し多職種でリハビリテーションを行った一症例**
 ○宮本 佳宏
 愛知学院大学歯学部高齢者・在宅歯科医療学講座
- 摂食審査P-2 **多職種が連携して介入したことで、くも膜下出血の後遺症による嚥下障害患者の食形態が向上した一例**
 ○上杉 雄大^{1,2)}
¹⁾昭和大学歯科病院口腔リハビリテーション科、²⁾医療法人社団百瀬歯科医院
- 摂食審査P-3 **Covid-19重症肺炎加療時に摂食嚥下障害を認め、摂食機能療法を実施した1例**
 ○幸地 真人^{1,2)}
¹⁾沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 歯科口腔外科、
²⁾公立九州歯科大学附属病院 口腔リハビリテーションセンター
- 摂食審査P-4 **ワレンベルグ症候群に対して頸部回旋嚥下にて対応し経口摂取可能となった一症例**
 ○岩田 雅裕
 サンズデンタルクリニック
- 摂食審査P-5 **延髄外側梗塞症候群による摂食嚥下障害に対して保存的治療から外科治療へ移行した1例**
 ○原 豪志
 神奈川歯科大学附属病院 全身管理高齢者歯科学分野
- 摂食審査P-6 **下顎歯肉がん術後の経管栄養患者が経口摂取へと移行した1例**
 ○伊原 良明
 昭和大学歯学部 スペシャルニーズ口腔医学講座 口腔リハビリテーション医学部門

- 摂食審査P-7 咽頭後リンパ節郭清術後の食道入口部開大不全症例に対して姿勢調整法を用いて経口摂取開始に至った一例
○野末 真司
昭和大学歯学部 スペシャルニーズ口腔医学講座 口腔リハビリテーション医学講座
- 摂食審査P-8 多職種連携によりお楽しみとして経口摂取が可能になった精神科入院中患者の1例
○今田 良子
東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 摂食嚥下リハビリテーション学分野

摂食機能療法専門歯科医師更新ポスター

オンデマンド

- 摂食更新P-1 浜松地域における摂食嚥下に関する教育・啓発活動の振り返り
○大野 友久
浜松市リハビリテーション病院
- 摂食更新P-2 干渉波刺激が有用であった1症例
○金森 大輔
藤田医科大学 医学部 七栗歯科
- 摂食更新P-3 認知症機能低下を抱えた高齢者への口腔と食に関する地域介入
～大規模団地における権利ベースの実践～
○枝広 あや子
東京都健康長寿医療センター研究所 自立促進と精神保健研究チーム 認知症と精神保健
- 摂食更新P-4 義歯不良と飲み込み困難を訴え来院した患者に対する摂食嚥下リハビリテーションの1例
○小野 圭昭
大阪歯科大学障がい者歯科
- 摂食更新P-5 地域歯科医師会との連携による食支援が可能な歯科医師養成の取組み
～高知県歯科医師会との事例～
○田中 信和¹⁾、野原 幹司²⁾、島田 力³⁾、阪井 丘芳²⁾
¹⁾大阪大学歯学部附属病院 顎口腔機能治療部、²⁾大阪大学大学院歯学研究科 顎口腔機能治療学教室、
³⁾島田歯科
- 摂食更新P-6 摂食機能療法専門歯科医師としての教育活動
○岩山 和史
医療法人 藤井歯科
- 摂食更新P-7 連携病院への摂食嚥下リハビリテーション訪問診療の臨床統計
○大久保 真衣
東京歯科大学口腔健康科学講座摂食嚥下リハビリテーション研究室
- 摂食更新P-8 摂食機能療法専門歯科医師としての活動
○高井 英月子^{1,2)}
¹⁾四天王寺和らぎ苑 歯科、²⁾大阪大学歯学部附属病院 顎口腔機能治療部

- 摂食更新P-9 **回復期リハビリテーション病棟に入院した左延髄外側脳梗塞に伴う摂食嚥下障害患者への対応**
○井関 史子
独立行政法人国立病院機構東京病院歯科
- 摂食更新P-10 **認知症対応型共同生活介護利用者に対する摂食機能療法専門歯科医師としての活動**
○須田 牧夫
医療法人社団横浜みらい会 横浜南仲通歯科
- 摂食更新P-11 **繰返す誤嚥性肺炎の軽度フレイル高齢者に対して摂食支援によって再入院を予防しえた一症例**
○目黒 道生
鳥取医療生協・せいきょう歯科クリニック
- 摂食更新P-12 **高齢者の退院支援に向けた嚥下回診を10年以上継続した活動報告**
○石田 瞭
東京歯科大学 口腔健康科学講座 摂食嚥下リハビリテーション研究室
- 摂食更新P-13 **急性期病院高齢診療科入院患者に対するオーラルフレイルラウンドの取り組み**
○平野 浩彦
東京都健康長寿医療センター歯科口腔外科